

吉 上 香 第 2 1 号
令和 7 年 8 月 2 9 日

歩掛参考見積募集要領

事業者 各位

独立行政法人水資源機構
吉野川上流総合管理所長 津久井 正明

次のとおり、吉野川上流総合管理所で予定している工事の歩掛参考見積を募集します。

令和 7 年 8 月 2 9 日

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、吉野川上流総合管理所で予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (2) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、別紙－1 及び別紙－3 の様式を参考に提出して下さい。
- (2) 提出期間：令和 7 年 9 月 1 日（月） から令和 7 年 9 月 1 2 日（金） まで
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 4 時まで
- (3) 提出先及び宛名

独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 宛

【担当】経理課 福井（フクイ）、松岡（マツオカ）、石川（イシカワ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話：0883-72-2050 F A X：0883-72-0727

メールアドレス：nyukei_ikeda@water.go.jp

- (4) 提出方法

書面は持参、郵送、FAXまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください（押印省略の場合は、押印省略の事項を必ずご記載ください）。

(5) 見積有効期限

令和8年3月31日までとし、必ず記載してください。

(6) 提出様式

様式は自由としますが、別紙－1を参考に以下の内容を必ず記載してください。

- ・文書番号（吉上香第21号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所 津久井 正明）
- ・提出者名（代表者 又は 代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日
- ・見積有効期限

なお、押印を省略する場合は、余白等へ以下の事項を必ず記載してください。

- ・本件責任者（会社名・部署・氏名）
- ・本件担当者（会社名・部署・氏名）
- ・連絡先1 ※代表電話等
- ・連絡先2 ※部署直通やご担当者の携帯番号等

4. 参考見積内容

(1) 見積内容

- ・鋼製嵩上板（製作費、据付作業歩掛）
 - ・分土工鋼製ピット蓋（製作費、撤去・据付作業歩掛）
 - ・余水吐鋼製ピット蓋（製作費、撤去・据付作業歩掛）
- ※構造等の詳細は別紙－4 見積仕様書及び別添図を参照

(2) 製作費

名称	仕様・規格	数量	備考
鋼製嵩上板	SUS304 支柱・目地板・アンカー・ボルト、ナット・無収縮モルタルを含む	1 式	別添参考図等参照
分土工 鋼製ピット蓋	SS400 溶融亜鉛めっき仕上げ、開閉蓋、ボルト、ナットを含む	1 基	別添参考図等参照
余水吐 鋼製ピット蓋	SS400 溶融亜鉛めっき仕上げ、開閉蓋、ボルト、ナットを含む	1 基	別添参考図等参照

※製作納入に必要な期間も記載願います。

(3) 作業内容（歩掛）

名称	仕様・規格	数量	備考
分土工鋼製 ピット蓋撤去	既設鋼製ピット蓋の撤去（重機等での吊込み、受枠、ヒンジの撤去、等を含む）	1 式	
余水吐鋼製 ピット蓋撤去	既設鋼製ピット蓋の撤去（重機等での吊込み等を含む）	1 式	

鋼製嵩上板 据付	据付（重機等での吊込み、アンカー施工、固定、現場での微調整等を含む）	1 式	
分水工鋼製 ピット蓋据付	据付（重機等での吊込み、アンカー施工、固定、現場での微調整等を含む）	1 式	
余水吐鋼製 ピット蓋据付	据付（重機等での吊込み、アンカー施工、固定、現場での微調整等を含む）	1 式	

※その他に必要な作業がある場合は別紙－３に記載願います。

（４）見積対象

資機材単価は、材料の加工～現場到着までに必要な費用の一切とし、材料費・（製品製作に係る）労務費・塗装費・（工場における）間接労務費・工場管理費・輸送費等を含むものとします。

作業歩掛については、施工に必要な共通仮設費・現場管理費・一般管理費は別途計上するため見積対象外とします。

また、消費税抜きの価格を記載してください。

（５）工事費の構成及び歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記（３）「作業項目、作業内容」を実施する為に必要な作業員（技術者）の人数等を徴取します。

（６）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和７年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

５．依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面により提出してください。

（１）提出期間：令和７年９月１日（月） から令和７年９月５日（金） まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後４時まで

（２）提出場所：２．（３）に同じ。

（３）提出方法：２．（４）に同じ。

（４）提出様式

様式は自由としますが、別紙－２を参考に以下の事項を必ず記載してください。

- ・文書番号（吉上香第２１号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所 津久井 正明）
- ・提出者名（代表者 又は 代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日
- ・質問事項

なお、押印を省略する場合は、余白等へ以下の事項を必ず記載してください。

- ・本件責任者（会社名・部署・氏名）

- ・ 本件担当者（会社名・部署・氏名）
- ・ 連絡先 1 ※代表電話等
- ・ 連絡先 2 ※部署直通やご担当者の携帯番号等

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- （１） 閲覧期間：令和7年9月10日（水） から令和7年9月12日（金） まで
- （２） 閲覧方法：FAX等により通知します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせて頂くことがあります。

以 上

※様式は自由となりますが、以下の例に記載する事項は必ず記載をお願いいたします。

印

(件 名) 吉上香第21号にかかる参考見積案件

見積有効期限：令和8年3月31日

・本件責任者（会社名・部署・氏名）：
・本件担当者（会社名・部署・氏名）：
・連絡先 1：
・連絡先 2：

別紙－２＜質問様式例＞（例）

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構

吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 氏 名

印

質 問 書

（件 名）吉上香第２１号にかかる参考見積案件

番号	質 問 事 項
①	~~~~~。
②	~~~~~。
③	~~~~~。
	※以下は押印省略の場合に記載してください。 ・本件責任者（会社名・部署・氏名）： ・本件担当者（会社名・部署・氏名）： ・連絡先１： ・連絡先２：

- 注）１．質問事項ごとに番号を付するものとする。
２．質問は代表者及び代表者から委任状により委任を受けた者が行うものとする。
３．持参・郵便で質問事項が２ページ以上に及ぶ場合、袋とじの上、割り印を行うものとする。

※本様式は、水資源機構本社 HP の以下に掲載しています。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/service/ukeoi/kouji/kouji.html>

（ホーム → 入札・契約情報 → 様式提供サービス → 請負契約等において使用する様式 → 建設工事に係る様式 → 番号１０）

参考見積書提出参考様式

件名：鋼製嵩上板製作・据付に係る見積

●資機材単価

(1)資機材単価表

(税抜き)

名称	仕様・規格	単位	数量	単価	金額	備考
鋼製嵩上板	SUS304、支柱・目地板・アンカー・ボルト・ナット・無収縮モルタルを含む	式	1			(約12m) 参考重量 約〇kg/ 式
製作納入期間	(〇日間、〇ヵ月など)					

注) 資機材単価は、材料の加工～現場到着までに必要な費用の一切とし、材料費・(製品製作に係る) 労務費・塗装費・(工場における) 間接労務費・工場管理費・輸送費等を含むものとする。

●作業歩掛表

作業内容は、見積仕様書によるものとします。

注) 各作業項目ごとに延べ人数(小数点以下第1位まで)を記入すること。

注) 作業内容等により、必要もしくは不要と判断される場合は適宜職種を追加・削除すること。

注) 作業歩掛について、施工に必要な足場等の仮設、諸経費(共通仮設費・現場管理費・一般管理費)は別途計上するため見積に含まないこと。

(1) 据付

1式(12m)あたり

作業項目	職種	単位	数量	金額	備考
据付	設備機械工	人			
	普通作業員	人			
	補助材料費率	%			※)
	機械経費率	%			※)

※) 鋼材の据付に必要なアンカーの削孔、既設構造物の寸法調整、無収縮モルタルの施工内容も計上する。

※) 据付補助材料費及び機械経費は、直接人件費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

※) 据付補助材料費とは、接着材料、溶接材、ハンダ、酸素、アセチレンガス、くぎ等をいう。

参考見積書提出参考様式

件名：分土工鋼製ピット蓋の製作・撤去・据付に係る見積

●資機材単価

(1)資機材単価表

(税抜き)

名称	仕様・規格	単位	数量	単価	金額	備考
分土工 鋼製ピット蓋	SS400 溶融亜鉛めっき仕上げ、開閉蓋、ボルト、ナットを含む	基	1			参考重量 約〇kg/ 基
製作納入期間	(〇日間、〇ヵ月など)					

注) 資機材単価は、材料の加工～現場到着までに必要な費用の一切とし、材料費・(製品製作に係る) 労務費・塗装費・(工場における) 間接労務費・工場管理費・輸送費等を含むものとする。

●作業歩掛表

作業内容は、見積仕様書によるものとします。

注) 各作業項目ごとに延べ人数(小数点以下第1位まで)を記入すること。

注) 作業内容等により、必要もしくは不要と判断される場合は適宜職種を追加・削除すること。

注) 作業歩掛について、施工に必要な足場等の仮設、諸経費(共通仮設費・現場管理費・一般管理費)は別途計上するため見積に含まないこと。

(1) 撤去

1式(1基)あたり

作業項目	職種	単位	数量	金額	備考
撤去	設備機械工	人			
	普通作業員	人			
	補助材料費率	%			※)
	機械経費率	%			※)

(2) 据付

1式(1基)あたり

作業項目	職種	単位	数量	金額	備考
据付	設備機械工	人			
	普通作業員	人			
	補助材料費率	%			※)
	機械経費率	%			※)

※) 据付補助材料費及び機械経費は、直接人件費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

※) 据付補助材料費とは、接着材料、溶接材、ハンダ、酸素、アセチレンガス、くぎ等をいう。

参考見積書提出参考様式

件名：余水吐鋼製ピット蓋の製作・撤去・据付に係る見積

●資機材単価

(1)資機材単価表

(税抜き)

名称	仕様・規格	単位	数量	単価	金額	備考
余水吐 鋼製ピット蓋	SS400 溶融亜鉛めっき仕上げ、開閉蓋、ボルト、ナットを含む	基	1			参考重量 約〇kg/ 基
製作納入期間	(〇日間、〇ヵ月など)					

注) 資機材単価は、材料の加工～現場到着までに必要な費用の一切とし、材料費・(製品製作に係る) 労務費・塗装費・(工場における) 間接労務費・工場管理費・輸送費等を含むものとする。

●作業歩掛表

作業内容は、見積仕様書によるものとします。

注) 各作業項目ごとに延べ人数(小数点以下第1位まで)を記入すること。

注) 作業内容等により、必要もしくは不要と判断される場合は適宜職種を追加・削除すること。

注) 作業歩掛について、施工に必要な足場等の仮設、諸経費(共通仮設費・現場管理費・一般管理費)は別途計上するため見積に含まないこと。

(1) 撤去

1式(1基)あたり

作業項目	職種	単位	数量	金額	備考
撤去	設備機械工	人			
	普通作業員	人			
	補助材料費率	%			※)
	機械経費率	%			※)

(2) 据付

1式(1基)あたり

作業項目	職種	単位	数量	金額	備考
据付	設備機械工	人			
	普通作業員	人			
	補助材料費率	%			※)
	機械経費率	%			※)

※) 据付補助材料費及び機械経費は、直接人件費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

※) 据付補助材料費とは、接着材料、溶接材、ハンダ、酸素、アセチレンガス、くぎ等をいう。

1. 基本条件

見積は、鋼製嵩上板及び分土工・余水吐鋼製ピット蓋の製作・撤去・設置に必要な製作費、撤去、据付等作業（仮設足場除く）の一切とする。施工条件は以下のとおりとするが、詳細は別添参考図を参照。

＜施工条件＞

・施工場所：香川県三豊市山本町神田地内

・施工目的：香川用水施設整備

・施工数量：鋼製嵩上板 1式（製作）
鋼製ピット蓋 2基（製作）
新設鋼製嵩上板据付 1式
既設鋼製ピット蓋撤去 2基
新設鋼製ピット蓋据付 2基

・その他：

1. 施工対象となる香川用水幹線水路及び余水吐・分水桝内への作業員の転落防止、資機材の落下防止対策を考慮する必要がある。
2. 香川用水幹線水路は、上水を通水するライフラインとなっており、水質障害が発生した場合は、浄水場の供給停止に繋がるおそれがあることから、コンクリートはつり作業におけるアルカリ分の溶出や資機材に含まれる有毒な物質の使用禁止など、現場作業時には特に注意しなければならない。
3. 撤去、据付作業方法については別添参考図に示す位置関係と諸条件を参考にし、現地で施工可能な機械等を選定の上、見積に反映させること。
4. 資機材単価は、材料の加工～現場到着までに必要な費用の一切とし、材料費・（製品製作に係る）労務費・塗装費・（工場における）間接労務費・工場管理費・輸送費等を含むものとする。作業歩掛については、施工に必要な足場等の仮設費、諸経費（共通仮設費・現場管理費・一般管理費）は別途計上するため見積に含まないこと。また、消費税は見積には含まないこと。

2. 本作業

2-1 製作

1. 既設構造物を詳細に採寸したうえで、嵩上板・鋼製ピット蓋を製作するものとする。なお、製作にあたっては、製作承諾図を作成し、事前に監督員の承諾を得るものとする。

2-2 撤去

1. 既設鋼製ピット蓋を撤去するものとする。なお、撤去作業にあたっては、既設コンクリート構造物、分水ゲート、流量計設備等に影響を及ぼさないよう丁寧に施工しなければならない。

2-3 据付

1. 既設構造物との取り合いに留意し、製作する鋼製材を据え付けるものとする。なお、据付作業にあたっては、既設コンクリート構造物、分水ゲート、流量計設備等に影響を及ぼさないよう丁寧に施工することのほか、既設構造物と鋼製材の間に隙間が生じることのないよう施工しなければならない。

以 上

見積参考資料

参 考 図

令和7年8月

独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所

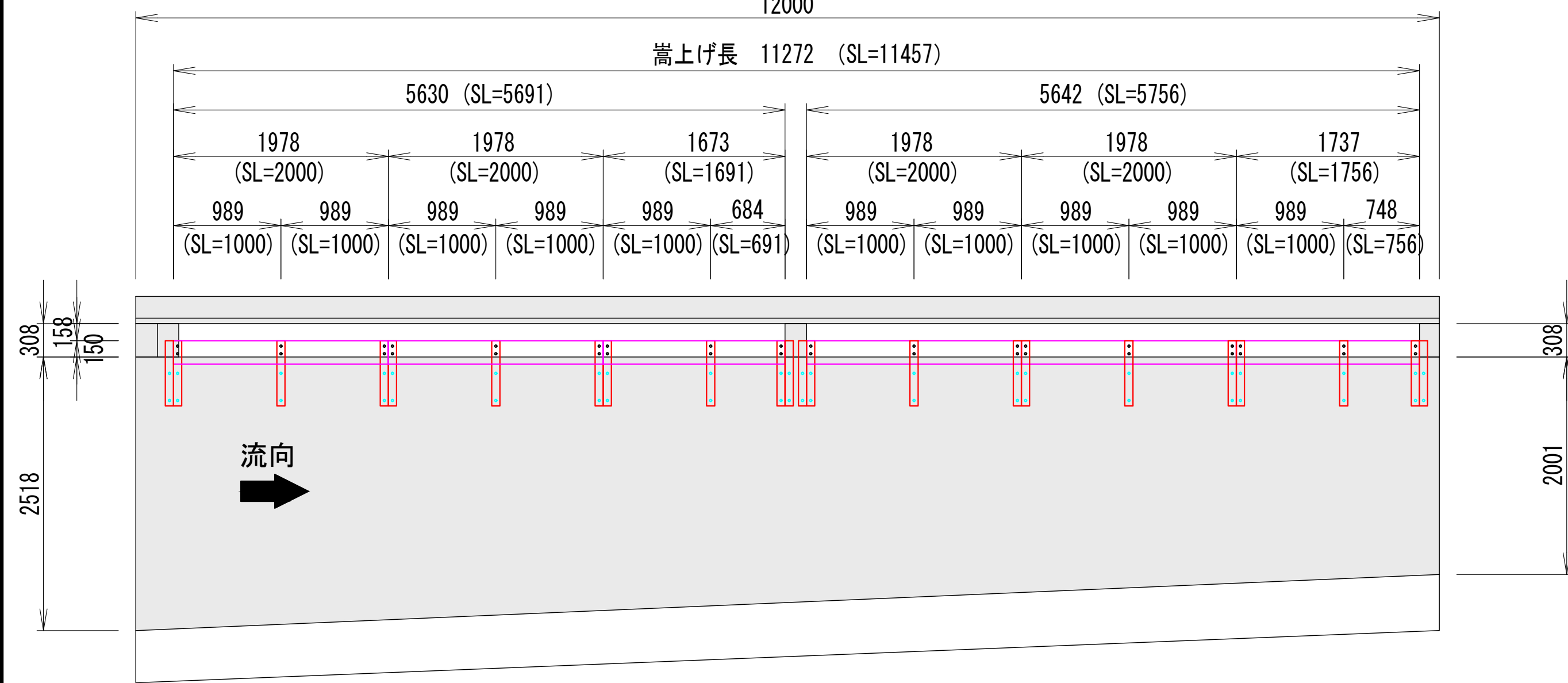
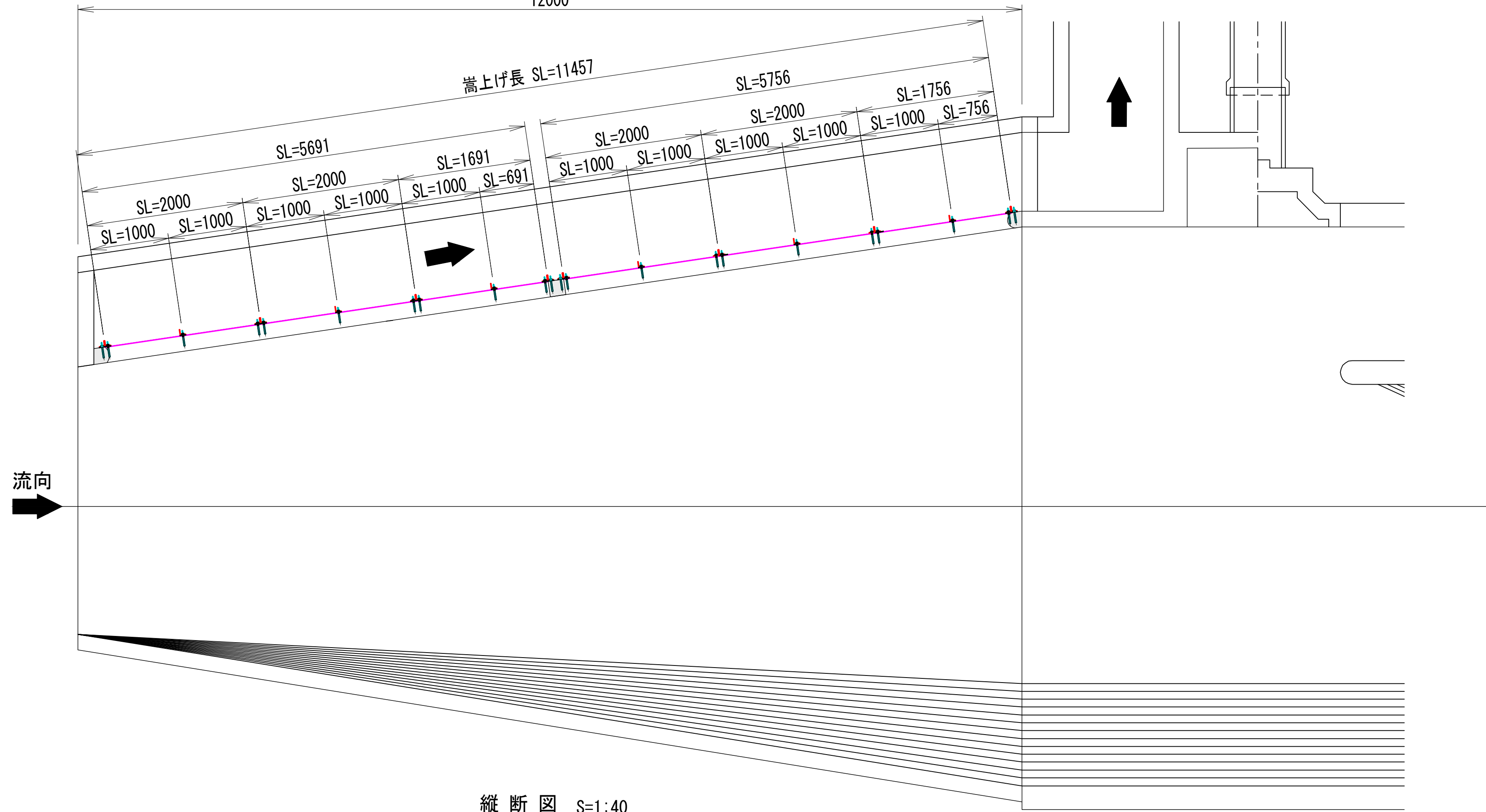
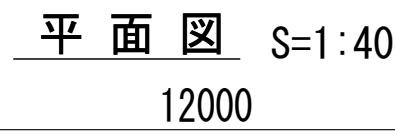
位置図

見積対象

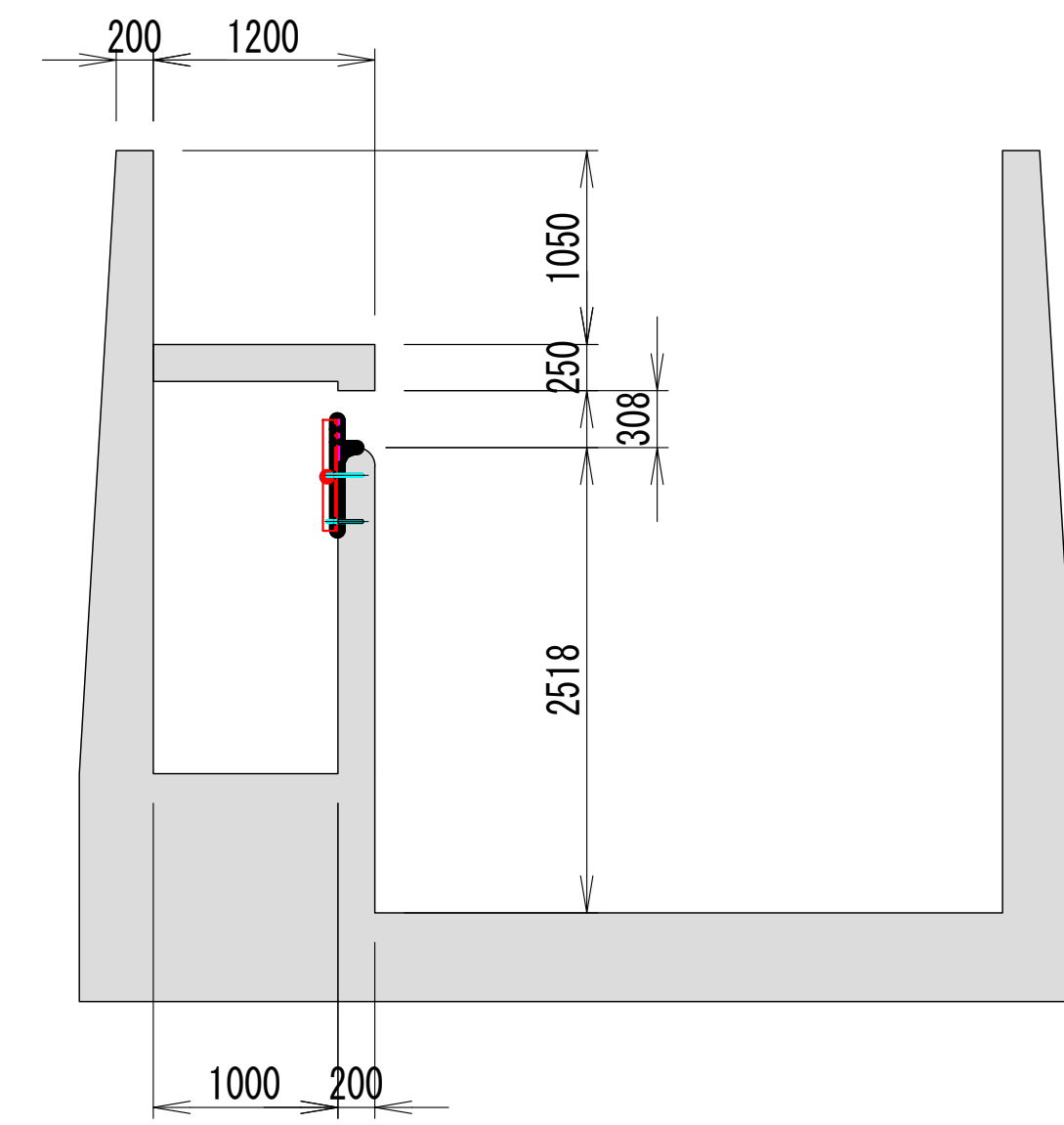


工 事 名	
名 称	位 置 図
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 吉野川上流総合管理所	

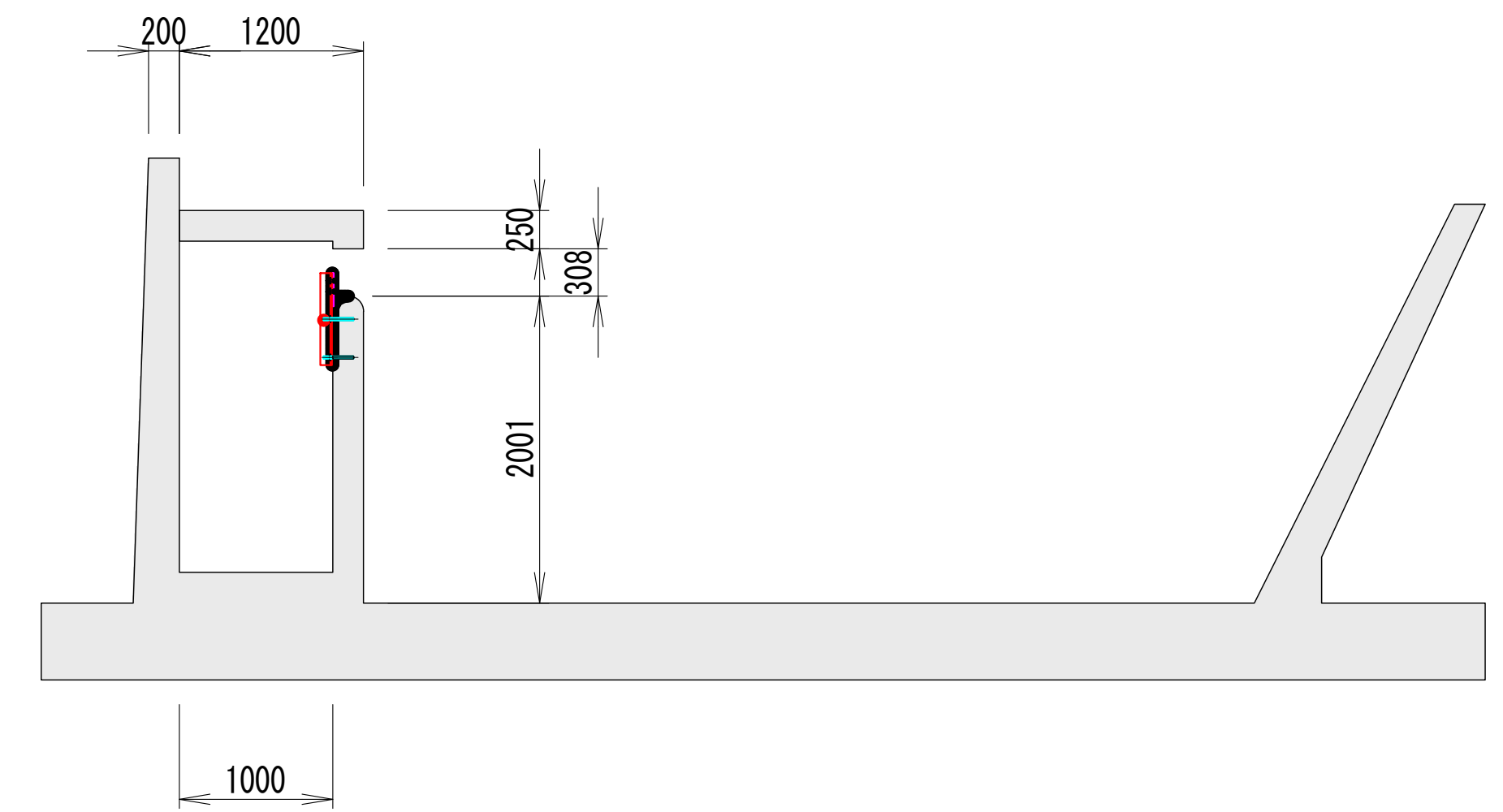
見積参考資料（鋼製嵩上板計画図）



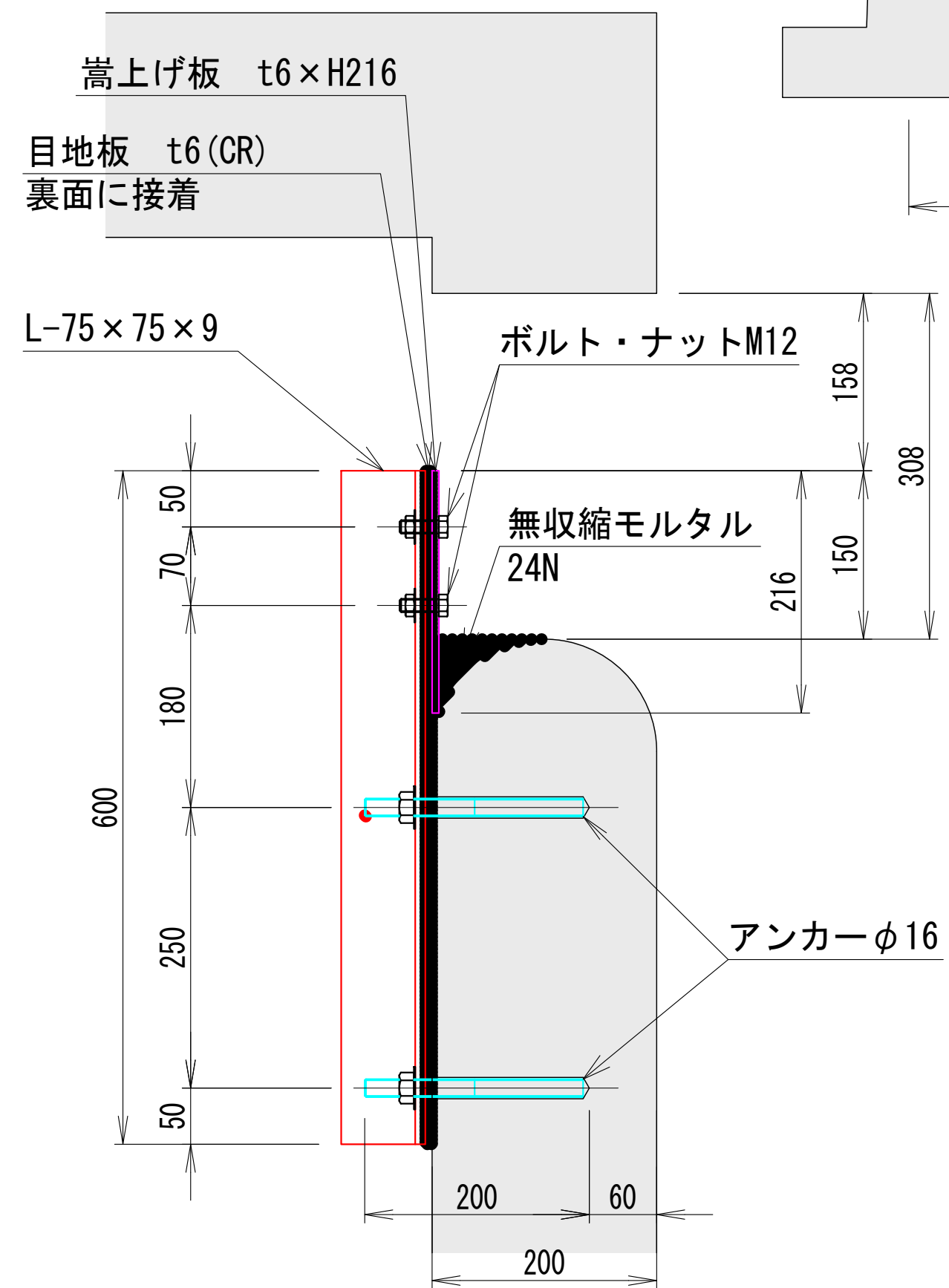
A-A断面図 S=1:40



B-B断面图 S=1:40



標準断面図 S=1:5



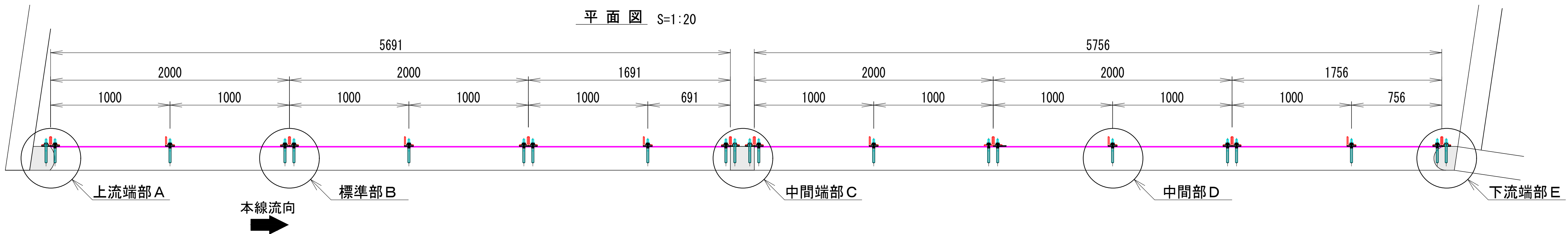
注意事項

1. 摘要
この図面は、見積参考資料（鋼製嵩上げ計画図）に適用する。
2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 材質
材質は、全て SUS304 とする。
4. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。

工 事 名		
名 称 見積參考資料（鋼野川上流総合管理所）		
登録番号	整理番号	参-002
独立行政法人水資源機構		吉野川上流総合管理所

見積参考資料（構造詳細図（1/3））

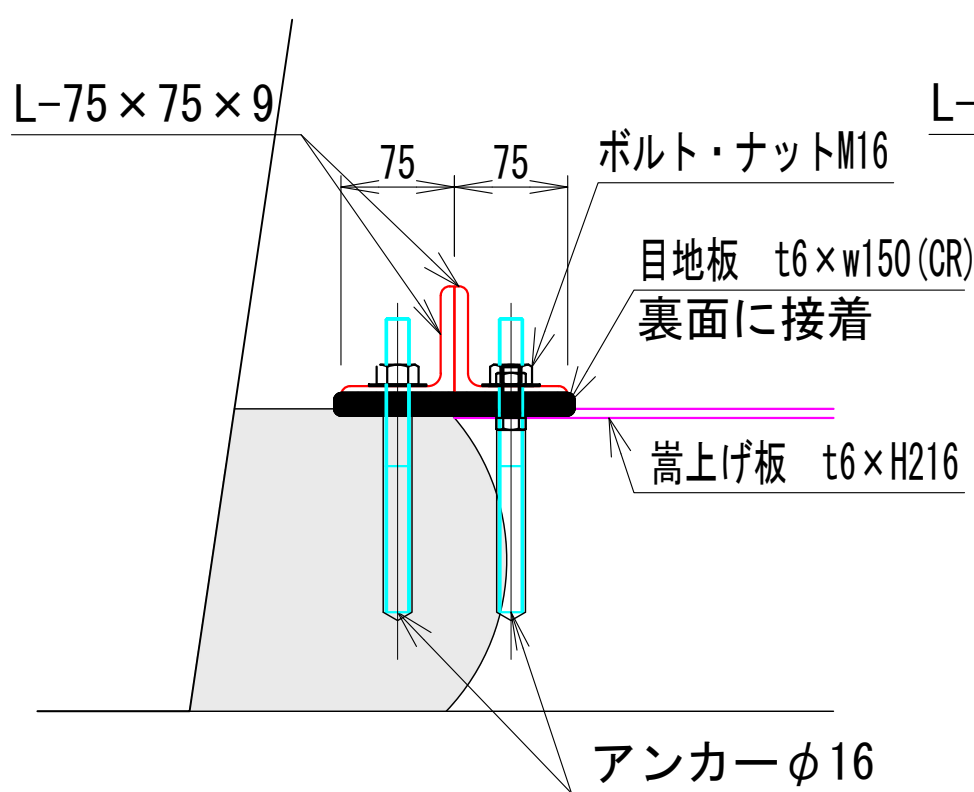
S=1:20



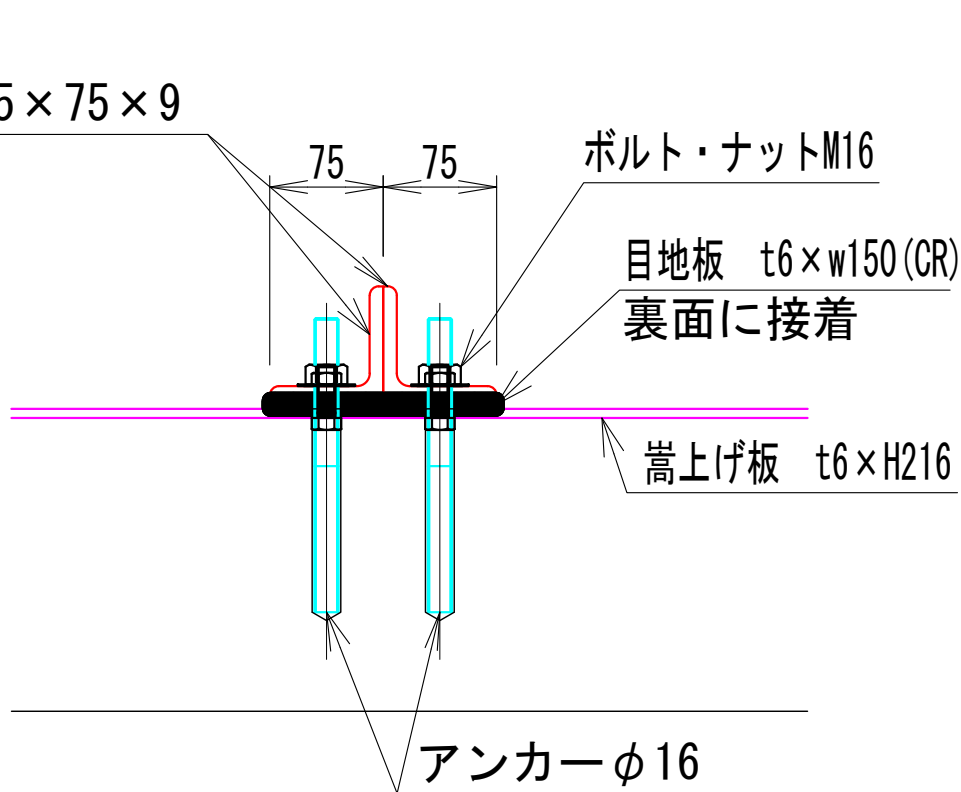
注意事項

1. 概要
この図面は、
見積参考資料（構造詳細図（1/3））に適用する。
2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に
示さない限りmm単位で示す。
3. 材質
材質は、全て SUS304 とする。
4. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
5. 施工について
アンカーコア削孔時には、既設鉄筋に損傷
を与えないよう事前に十分な鉄筋探索やはつ
り調査を行い、既設鉄筋に干渉しないよう
削孔位置を決定すること。
6. 目地板
目地板（ゴム発泡体t=6mm）を所定の位置に
設置すること。

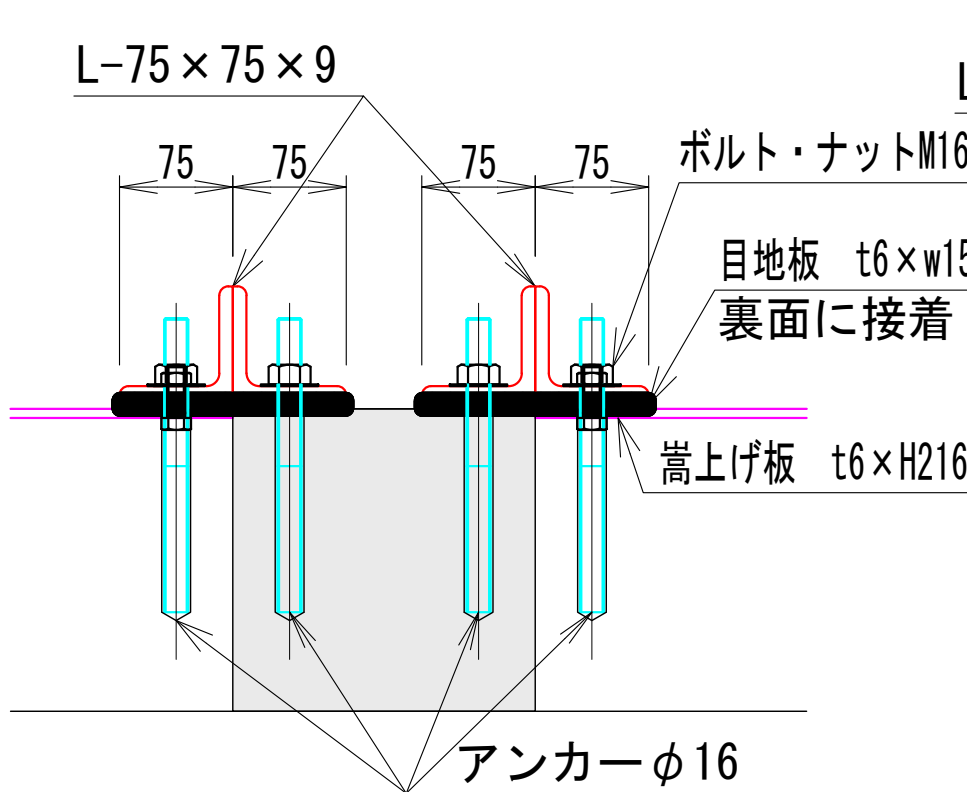
上流端部 A S=1:5



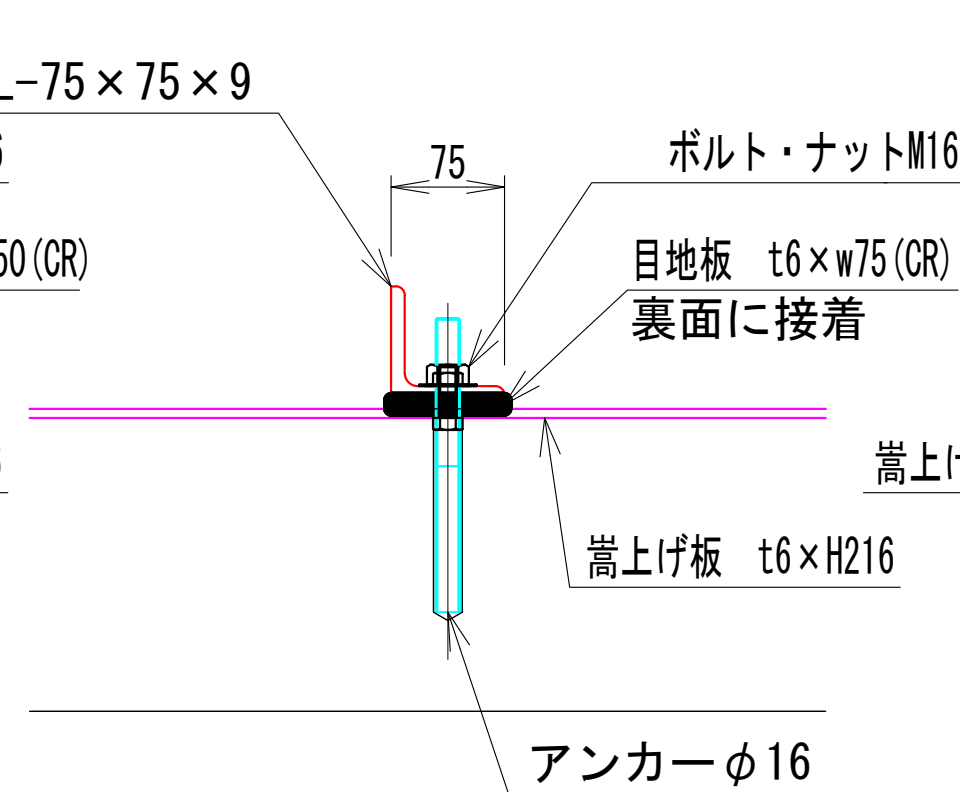
標準部 B S=1:5



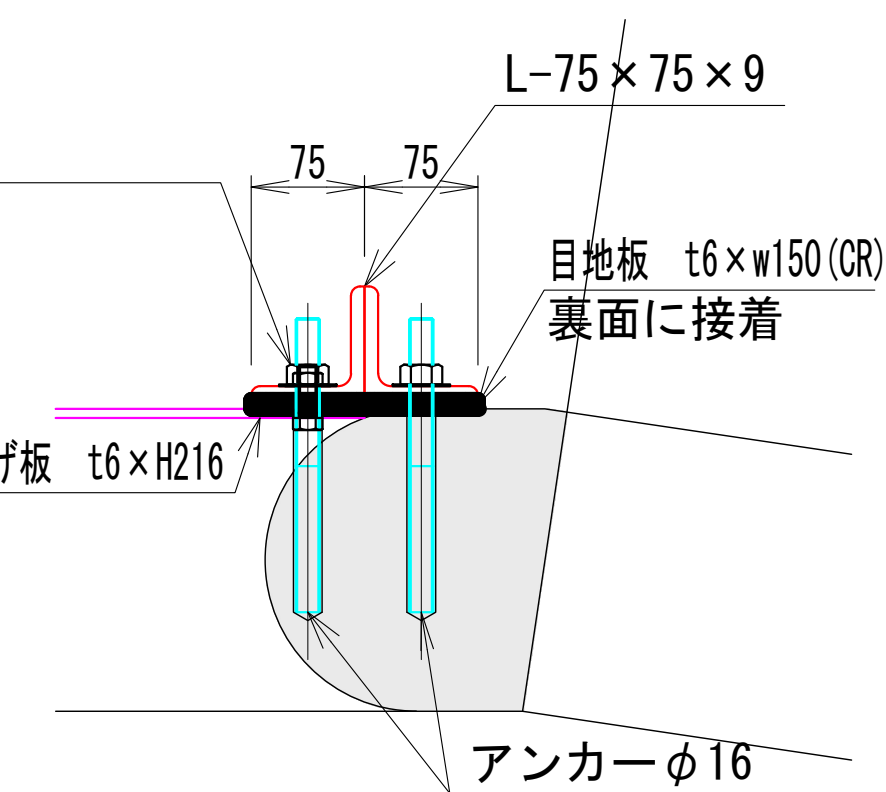
中間端部 C S=1:5



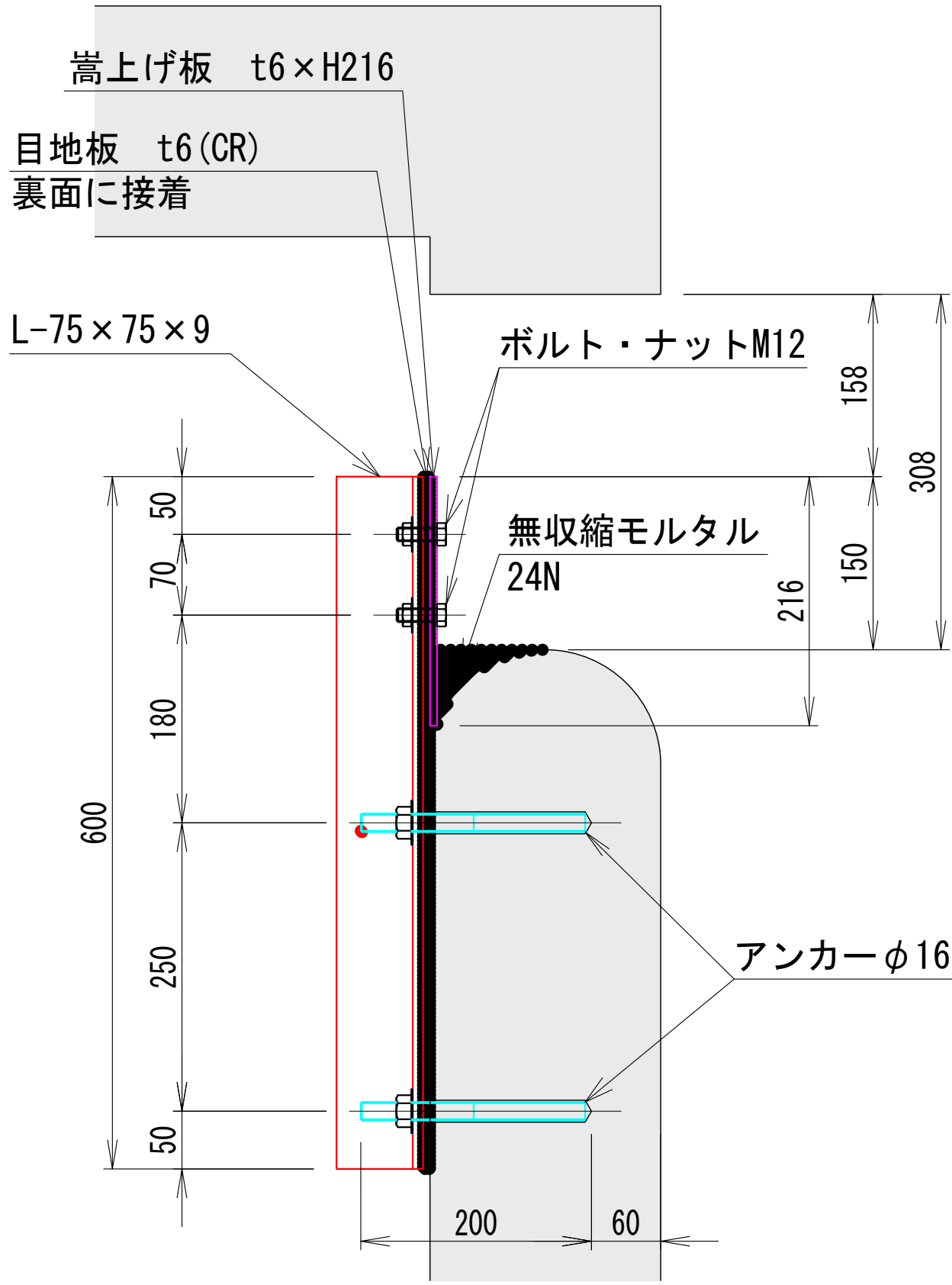
中間部 D S=1:5



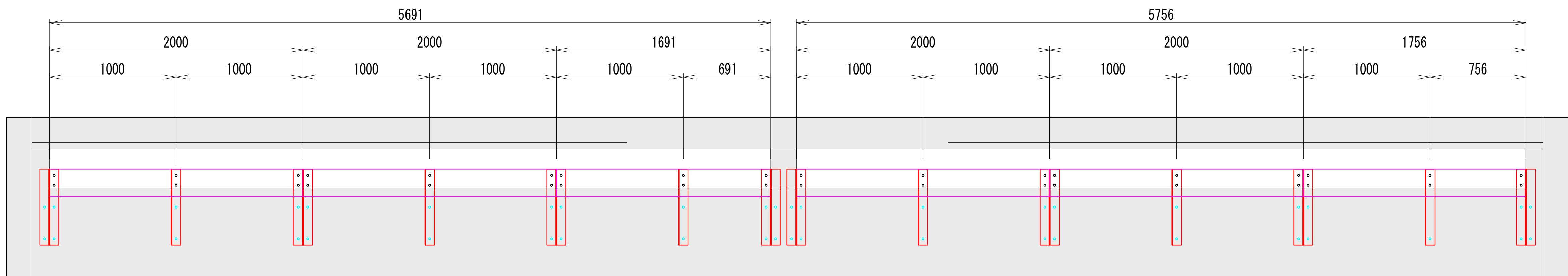
下流端部 E S=1:5



標準断面図 S=1:5



正面展開図 S=1:20



工事名	
名 称 見積参考資料（構造詳細図（1/3））	
登録番号	整理番号 参-003
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所	

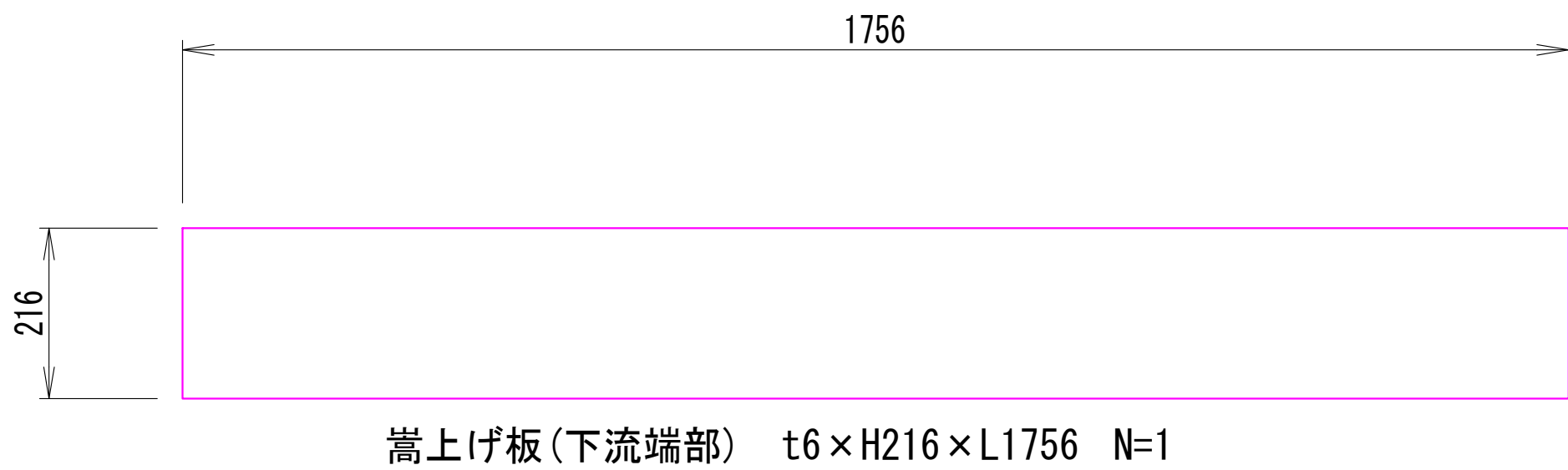
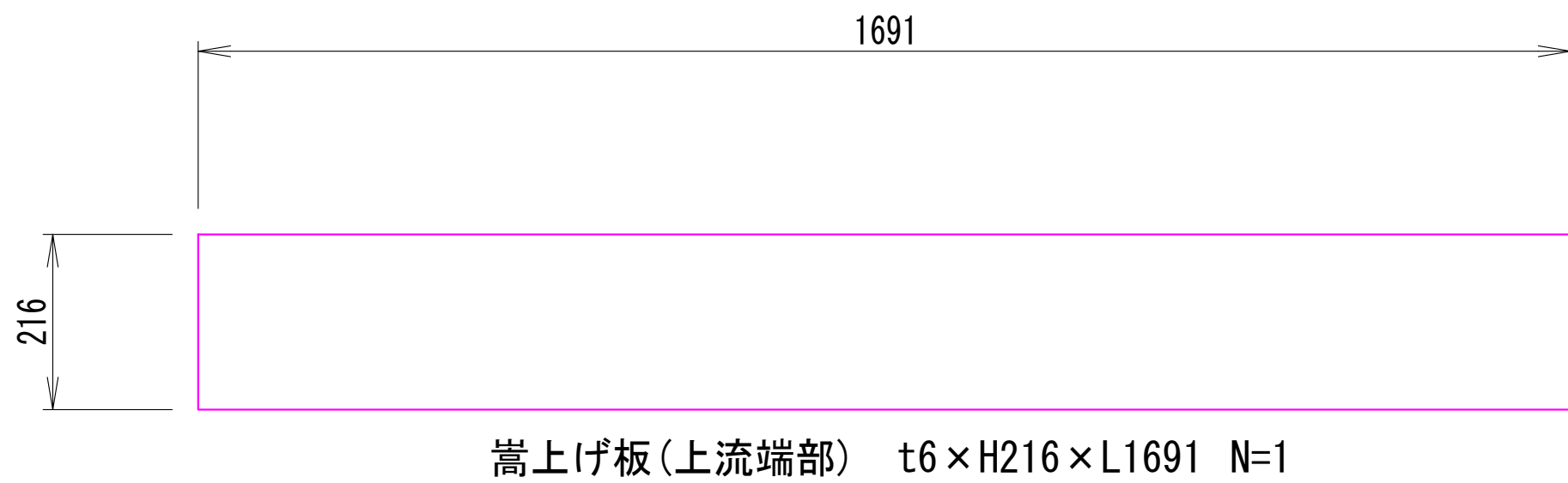
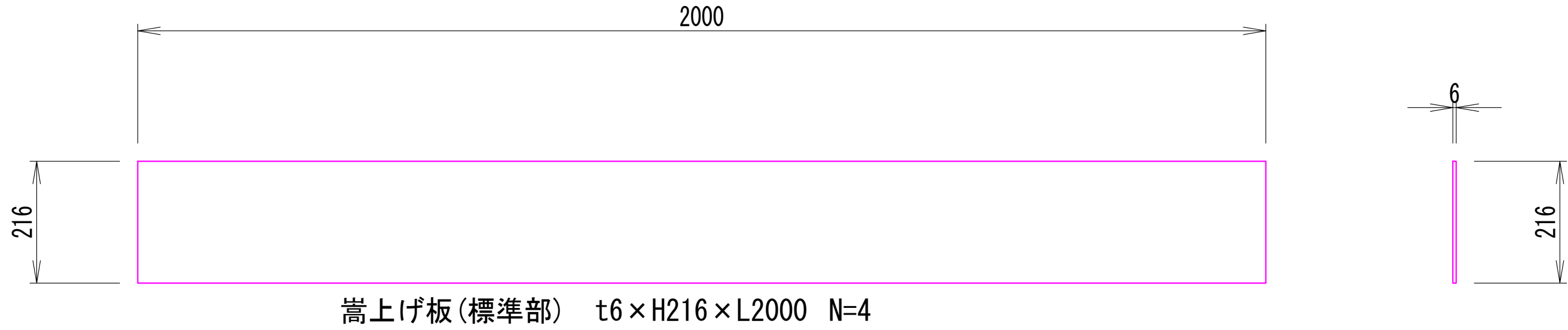
見積参考資料（構造詳細図（2/3））

S=1:20

注意事項

1. 概要
この図面は、
見積参考資料（構造詳細図（2/3））に適用する。
2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に
示さない限りmm単位で示す。
3. 材質
材質は、全て SUS304 とする。
4. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
5. 施工について
アンカーコア削孔時には、既設鉄筋に損傷
を与えないよう事前に十分な鉄筋探索やはつ
り調査を行い、既設鉄筋に干渉しないように
削孔位置を決定すること。
6. 目地板
目地板（ゴム発泡体t=6mm）を所定の位置に
設置すること。

嵩上げ板 S=1:8



支柱① S=1:8

上流端部 A L-75×75×9 L=600 N=2
中間端部 C L-75×75×9 L=600 N=2×2=4
下流端部 E L-75×75×9 L=600 N=2

計 N=8

支柱② S=1:8

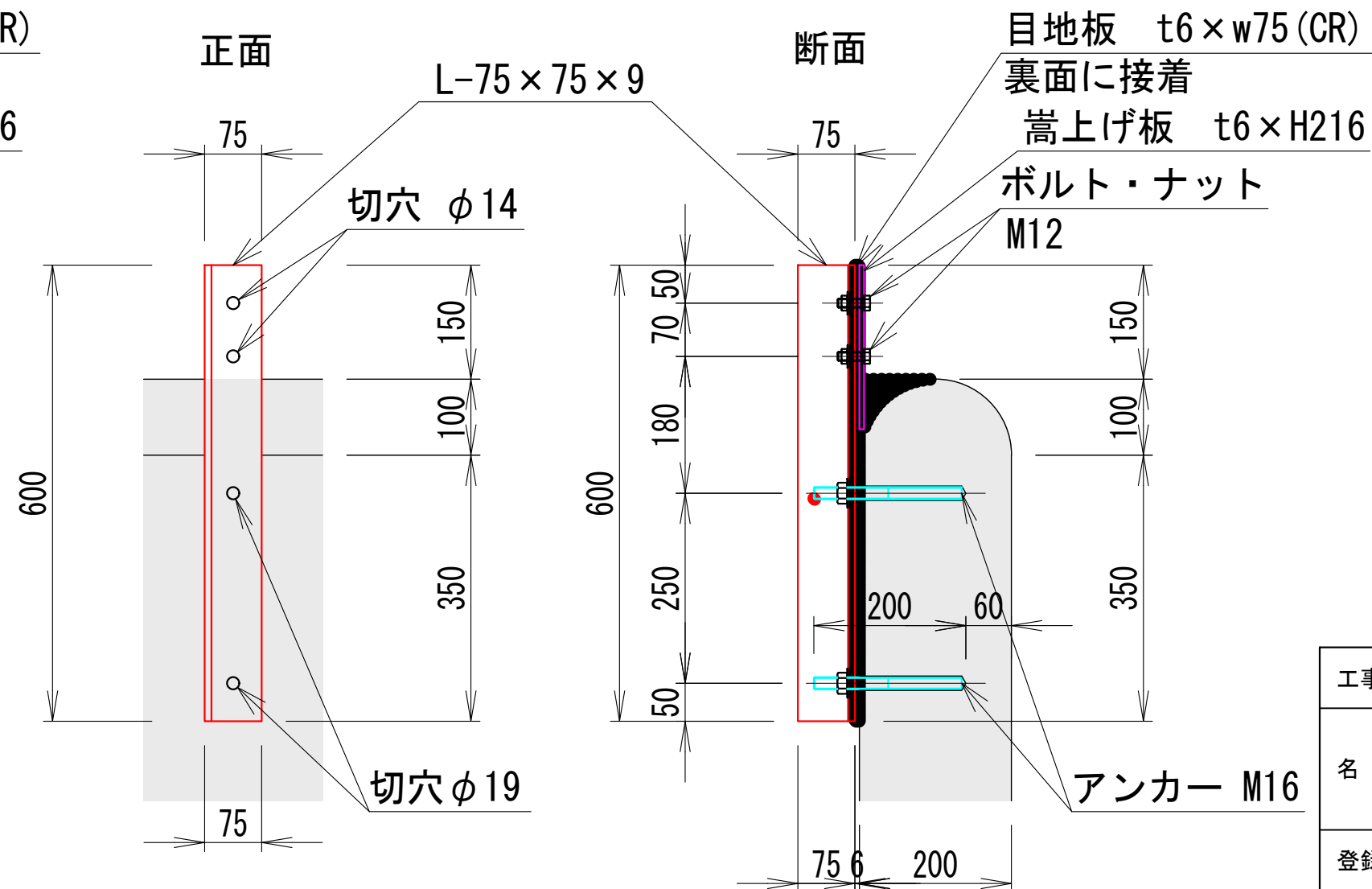
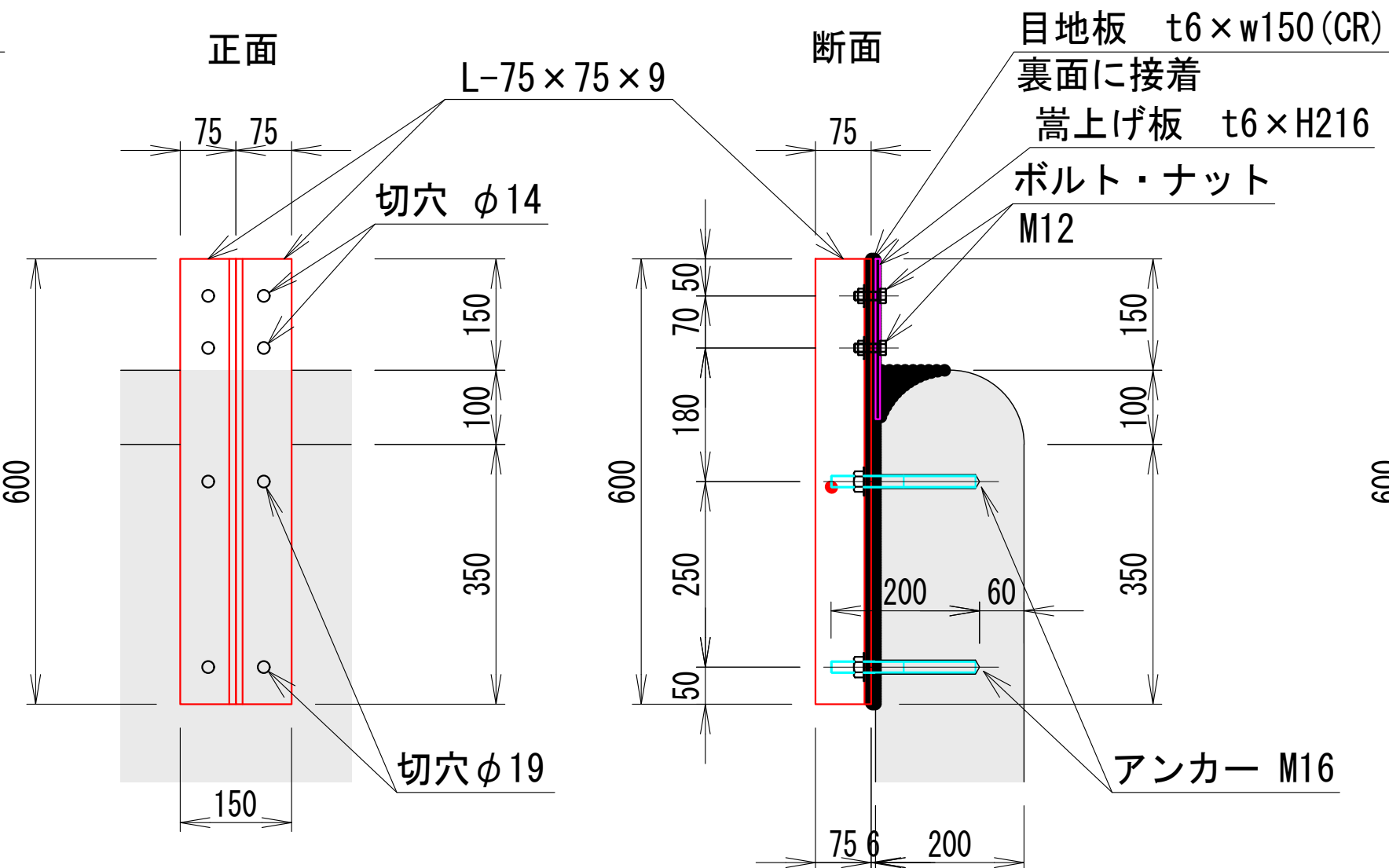
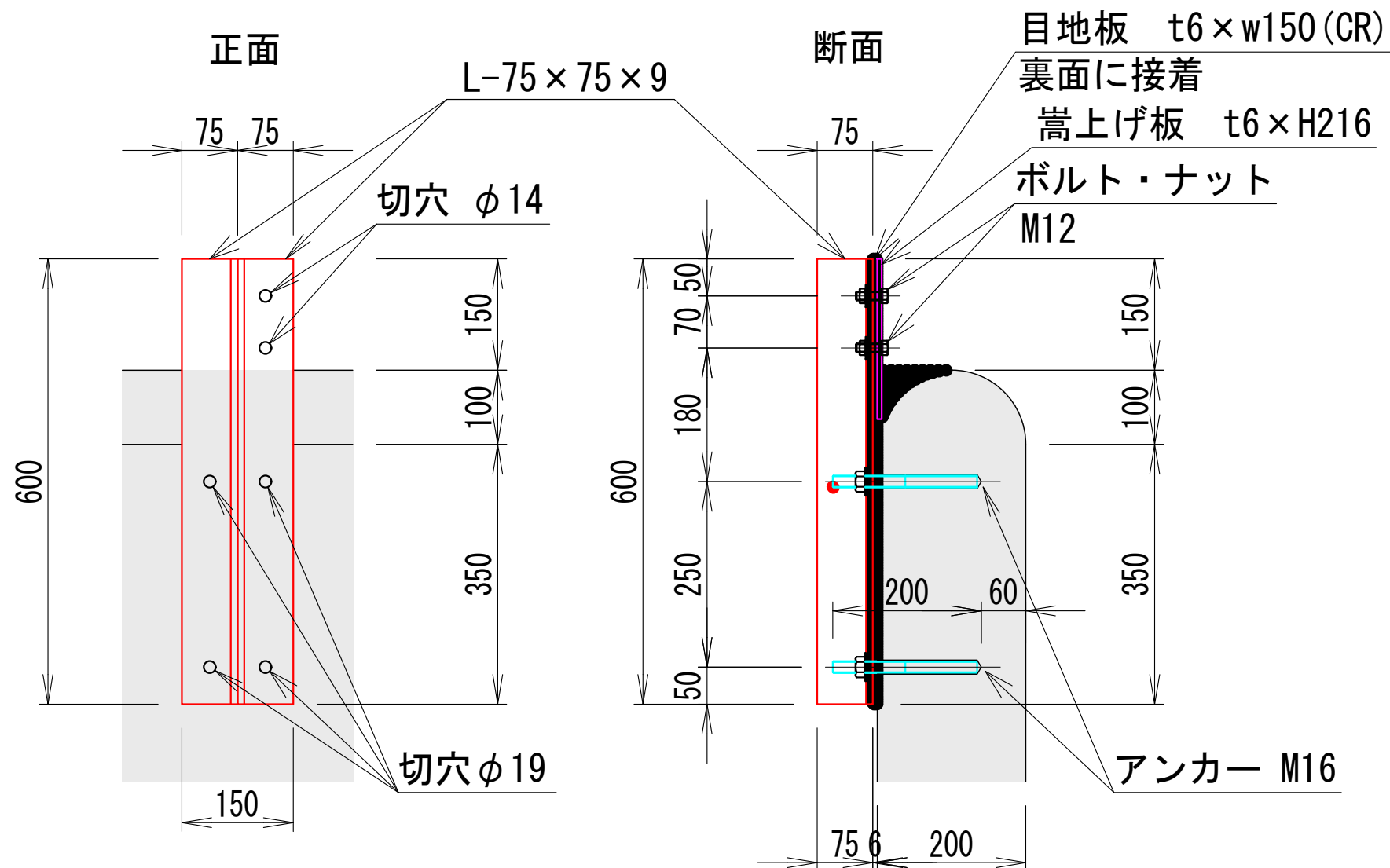
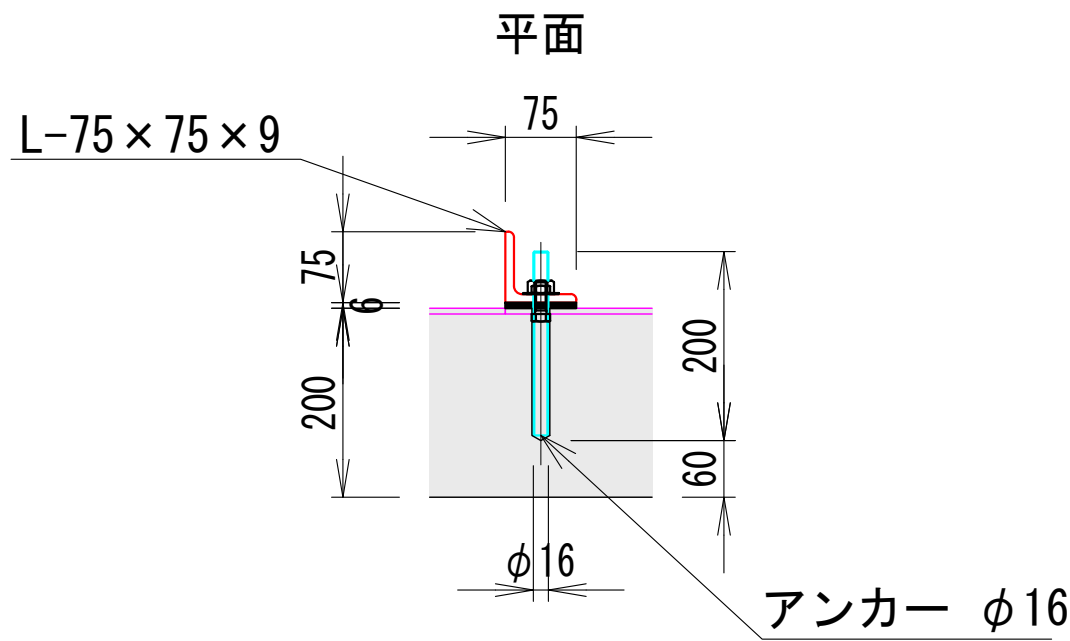
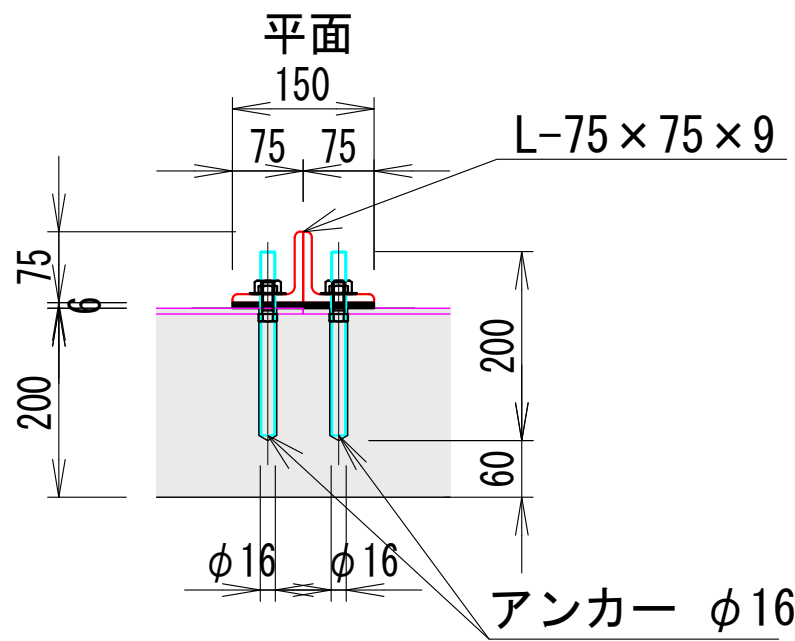
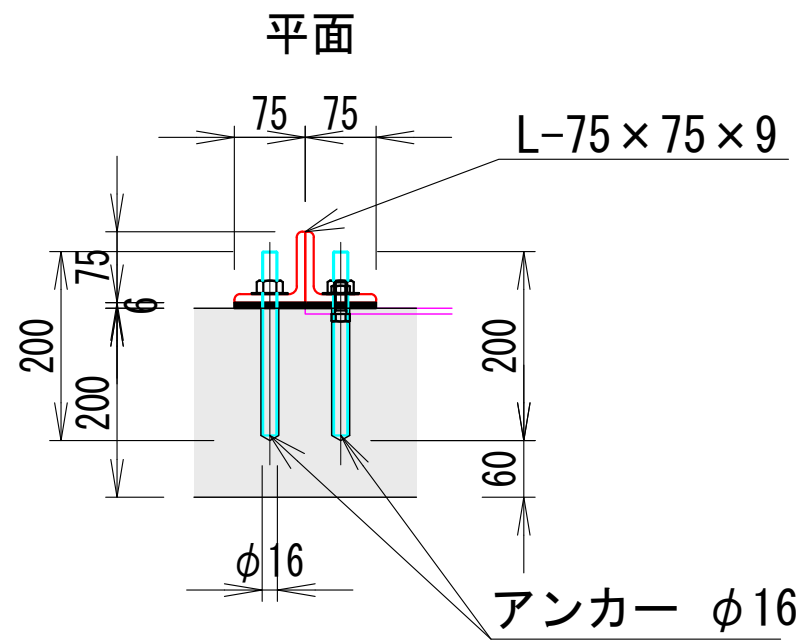
標準部 B L-75×75×9-2 L=600 N=2×4=8

計 N=8

支柱③ S=1:8

中間部 D L-75×75×9 L=600 N=6

計 N=6



工事名	
名 称	見積参考資料（構造詳細図（2/3））
登録番号	整理番号 参-004
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所	

見積参考資料（構造詳細図（3 / 3））

S = 1 : 2 0

注意事項

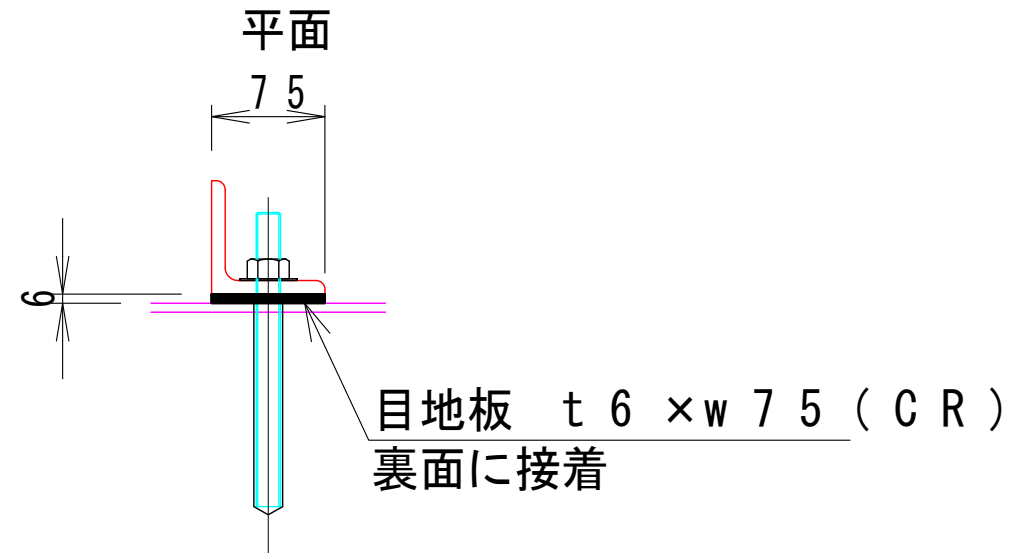
1. 摘要
この図面は、
見積参考資料（構造詳細図（3 / 3））に適用する。
2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に
示さない限りmm単位で示す。
3. 材質
材質は、全て S U S 3 0 4 とする。
4. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
5. 施工について
アンカーコア削孔時には、既設鉄筋に損傷
を与えないよう事前に十分な鉄筋探索やはつ
り調査を行い、既設鉄筋に干渉しないように
削孔位置を決定すること。
6. 目地板
目地板（ゴム発泡体t = 6 mm）を所定の位置に
設置すること。

目地板① S = 1 : 5

中間部D t 6 × w 7 5 × L 6 0 0 N = 6

計 N = 6

計 L = 0 . 6 × 6 = 3 . 6 m



目地板② S = 1 : 5

上流端部A t 6 × w 1 5 0 × L 6 0 0

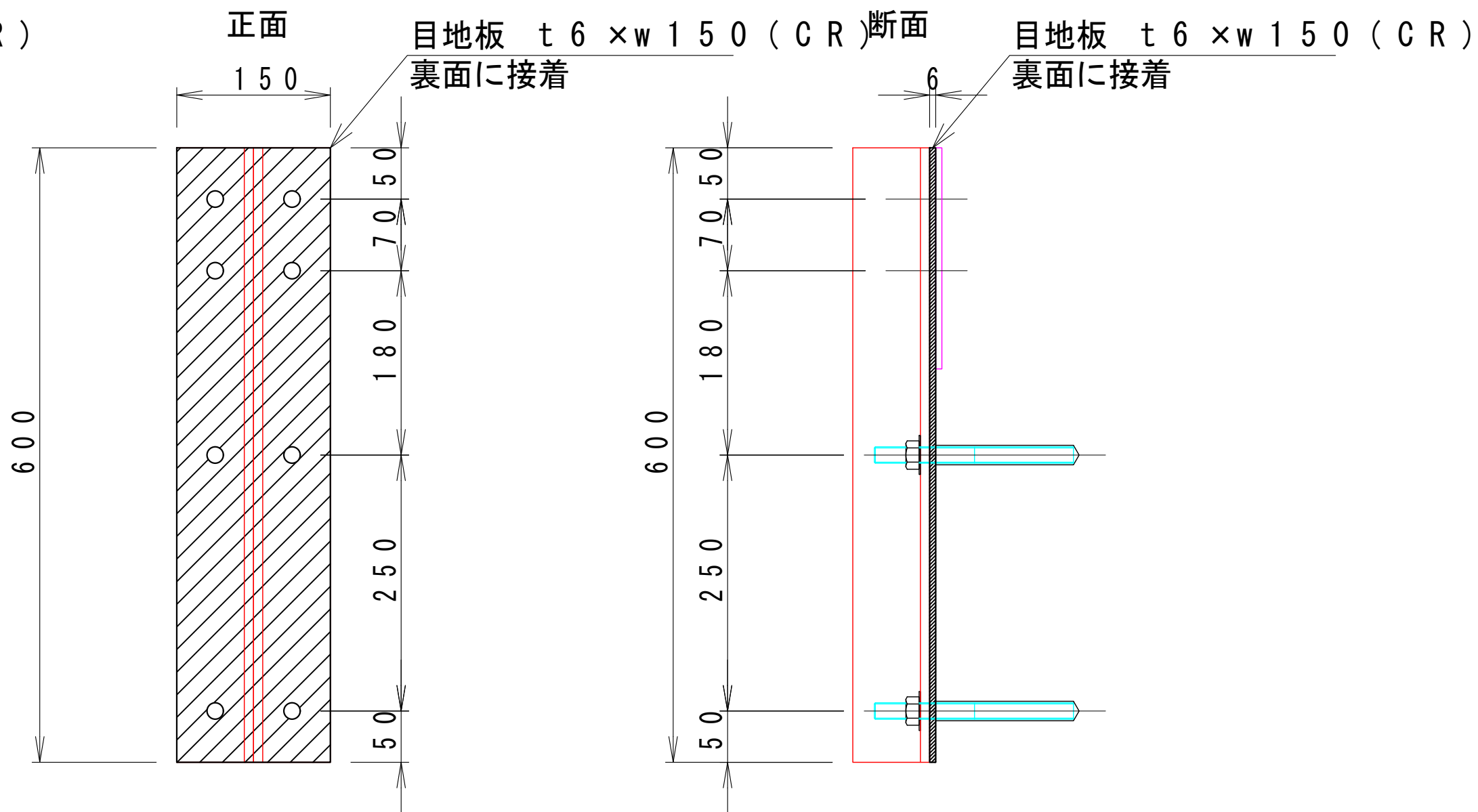
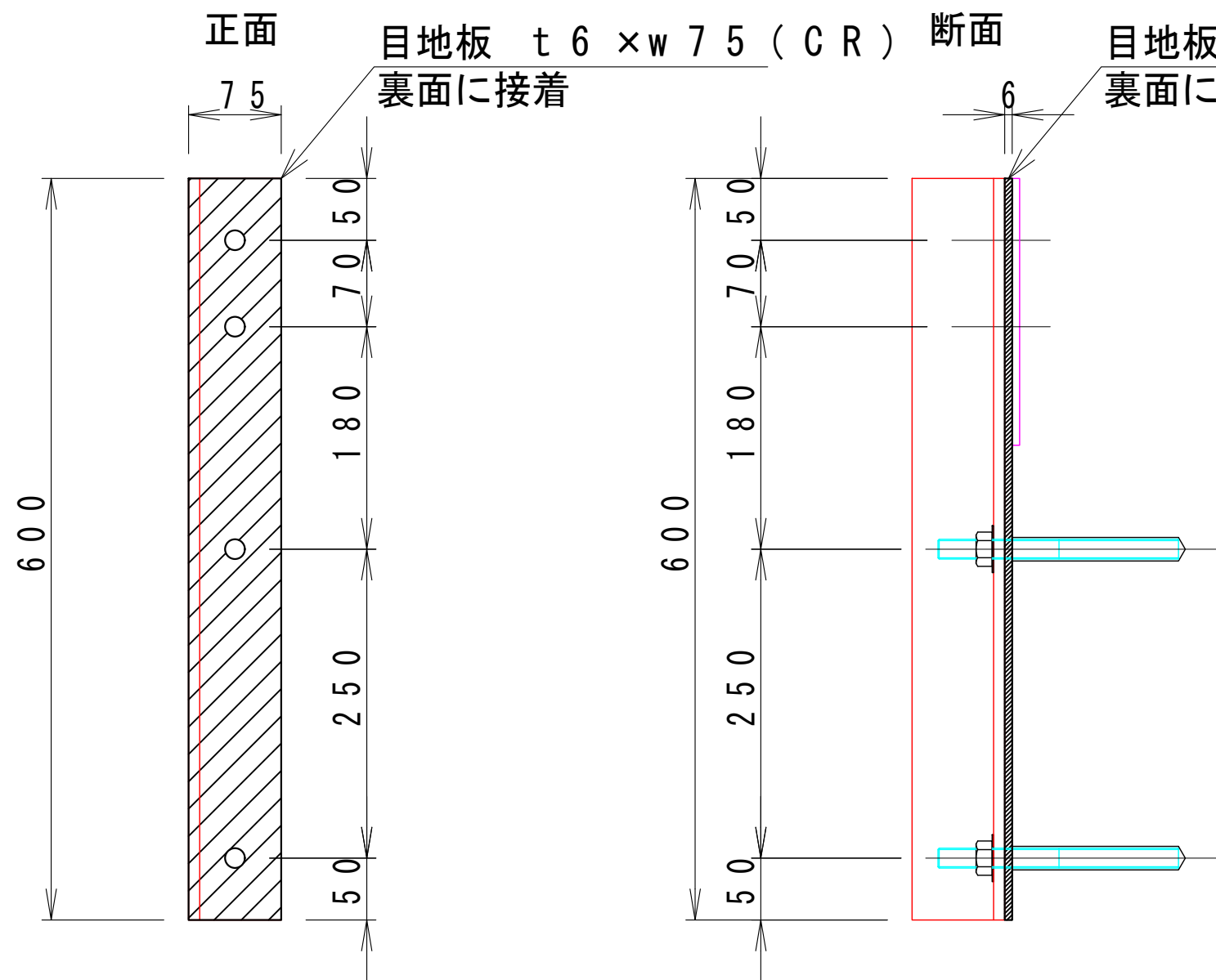
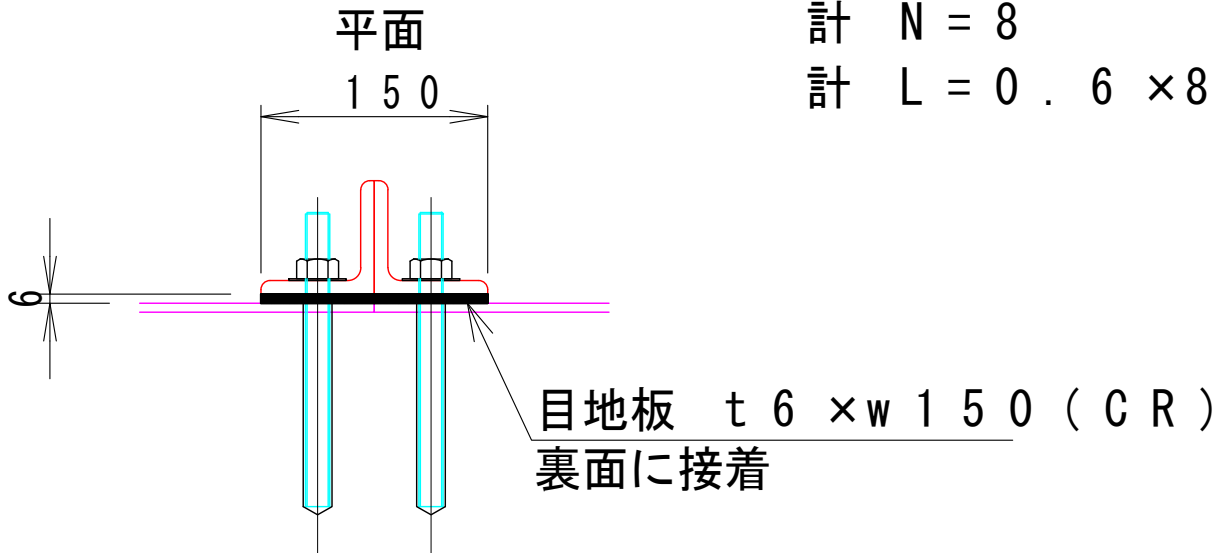
標準部B t 6 × w 1 5 0 × L 6 0 0

中間端部C t 6 × w 1 5 0 × L 6 0 0

下流端部E t 6 × w 1 5 0 × L 6 0 0

計 N = 8

計 L = 0 . 6 × 8 = 4 . 8 m



ボルト・ナット S = 1 : 5

M 1 2 ボルト・ナット

上流端部A $\phi 1 2 \times L 3 \text{ N} = 1 \times 2 = 2$
標準部B $\phi 1 2 \times L 3 \text{ N} = 2 \times 2 \times 4 = 1 6$
中間端部C $\phi 1 2 \times L 3 \text{ N} = 2 \times 2 = 4$
中間部D $\phi 1 2 \times L 3 \text{ N} = 2 \times 6 = 1 2$
下流端部E $\phi 1 2 \times L 3 \text{ N} = 1 \times 2 = 2$

計 N = 3 6

M 1 6 ナット

上流端部A $\phi 1 6 \text{ N} = 2 \times 2 = 4$
標準部B $\phi 1 6 \text{ N} = 2 \times 2 \times 4 = 1 6$
中間端部C $\phi 1 6 \text{ N} = 2 \times 4 = 8$
中間部D $\phi 1 6 \text{ N} = 2 \times 6 = 1 2$
下流端部E $\phi 1 6 \text{ N} = 2 \times 2 = 4$

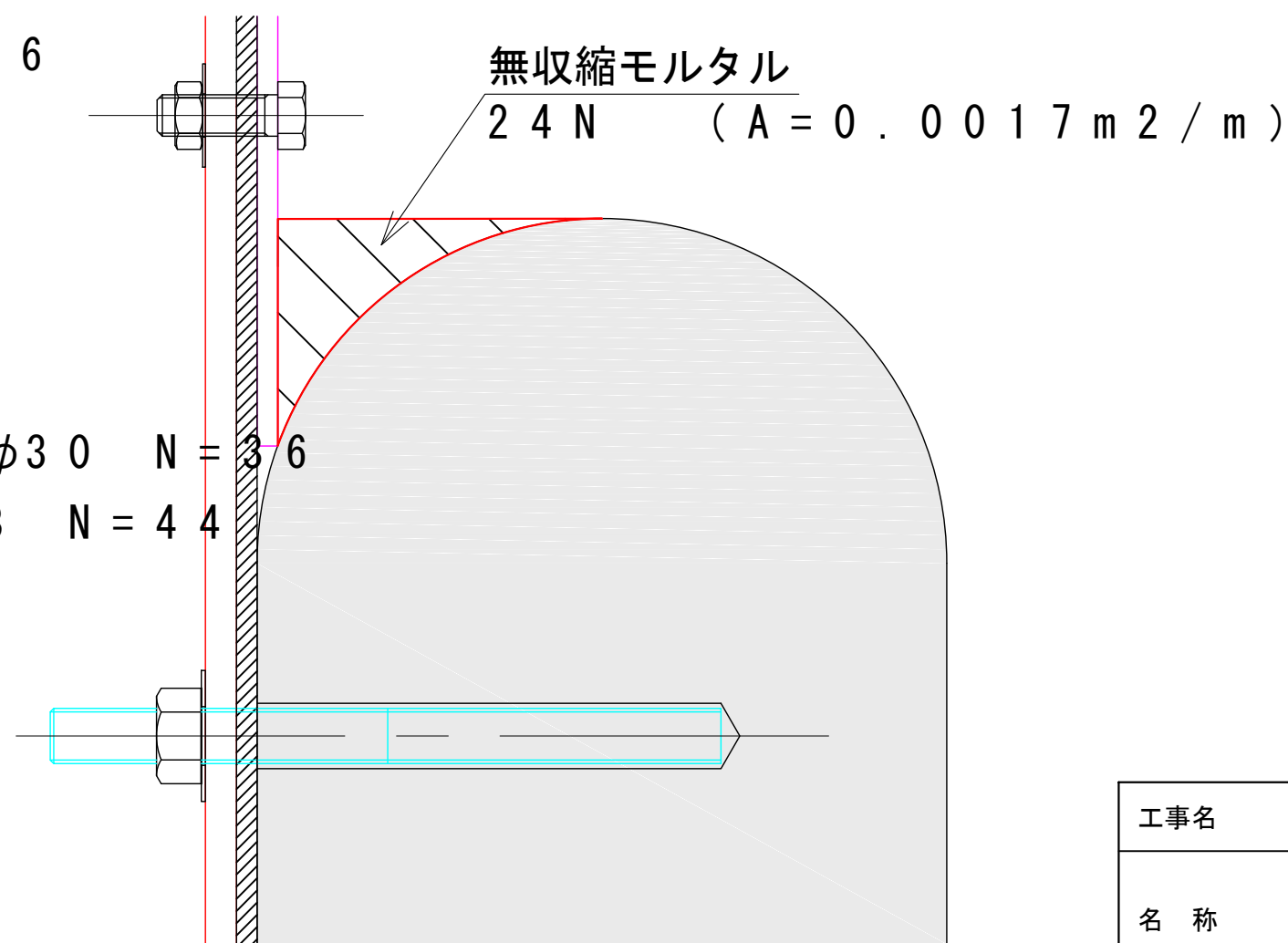
計 N = 4 4

ワッシャー

M 1 2 t 0 . 8 × 内径 $\phi 1 2 . 5$ × 外径 $\phi 3 0 \text{ N} = 3 6$

M 1 6 t 1 . 2 × 内径 $\phi 1 7$ × 外径 $\phi 3 8 \text{ N} = 4 4$

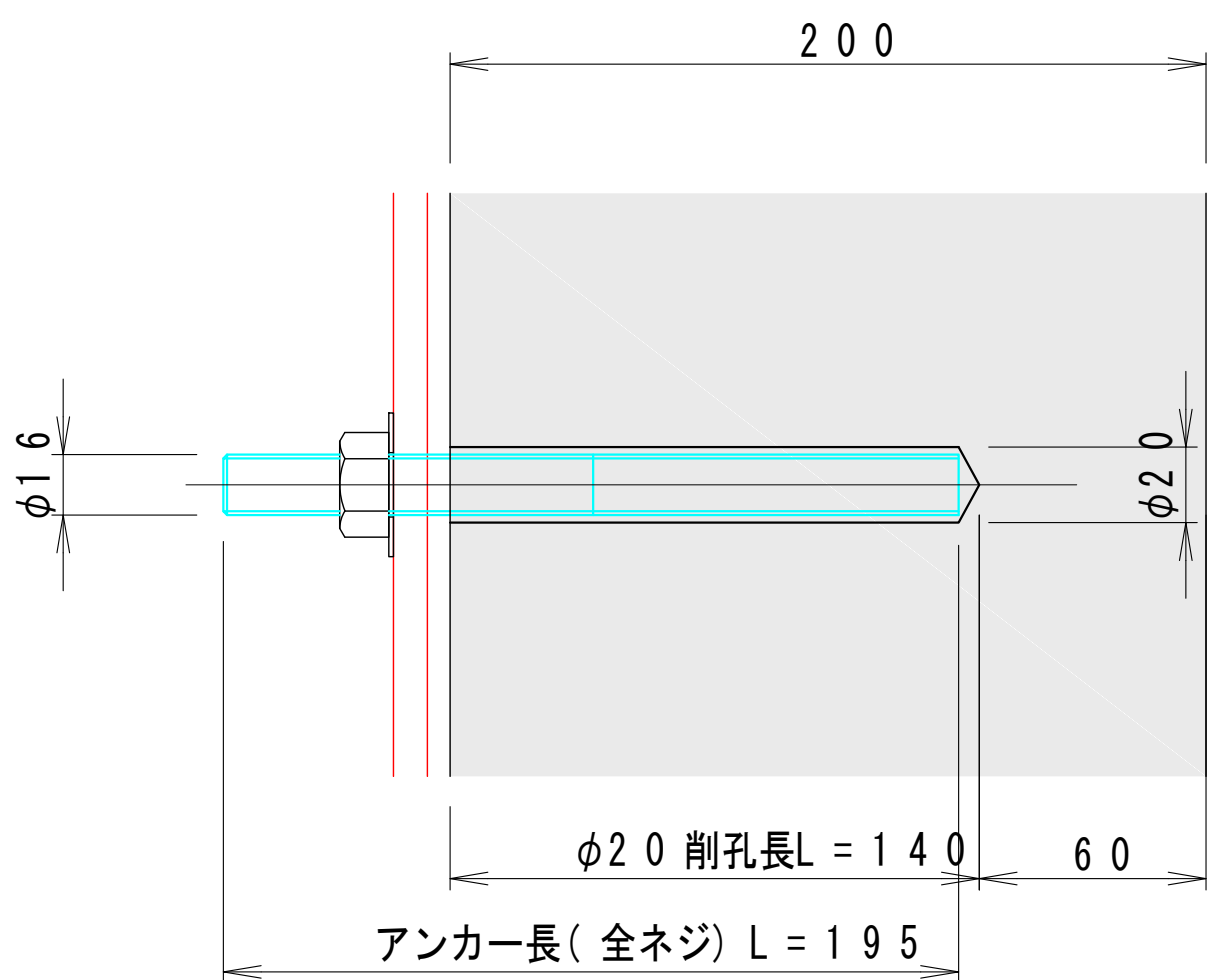
無収縮モルタル S = 1 : 2



アンカー S = 1 : 2

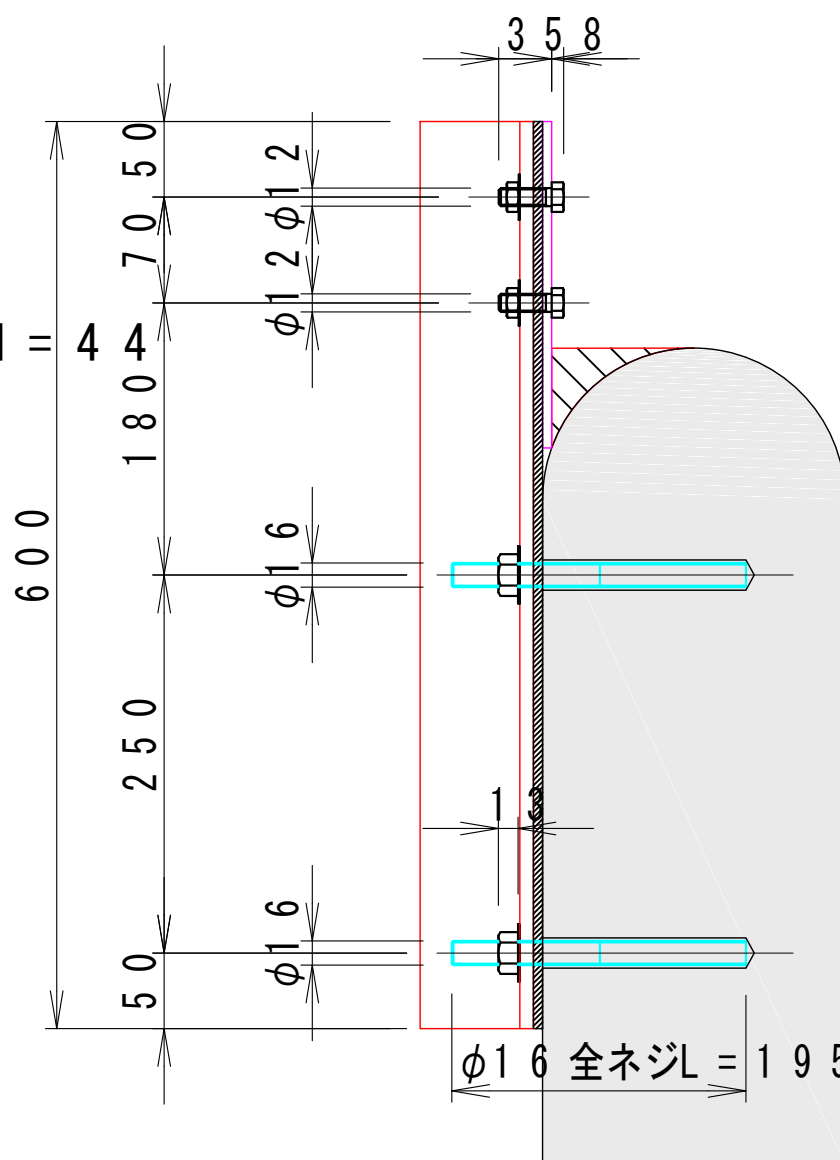
上流端部A $\phi 1 6 \times L 2 0 0$ (全ネジ) × 2 = 4
標準部B $\phi 1 6 \times L 2 0 0$ (全ネジ) × 2 × 4 = 1 6
中間端部C $\phi 1 6 \times L 2 0 0$ (全ネジ) × 4 = 8
中間部D $\phi 1 6 \times L 2 0 0$ (全ネジ) × 6 = 1 2
下流端部E $\phi 1 6 \times L 2 0 0$ (全ネジ) × 2 = 4

計 N = 4 4

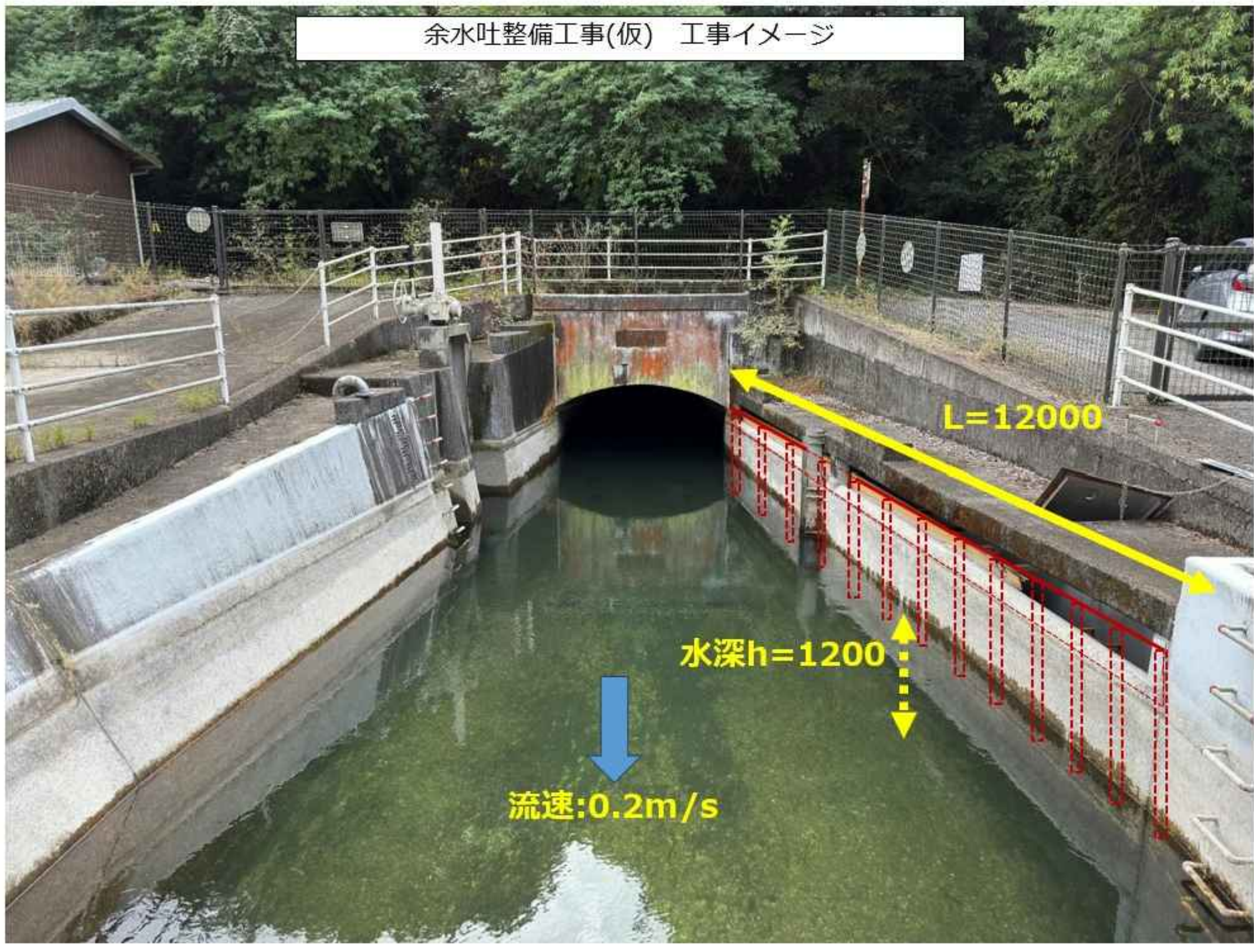
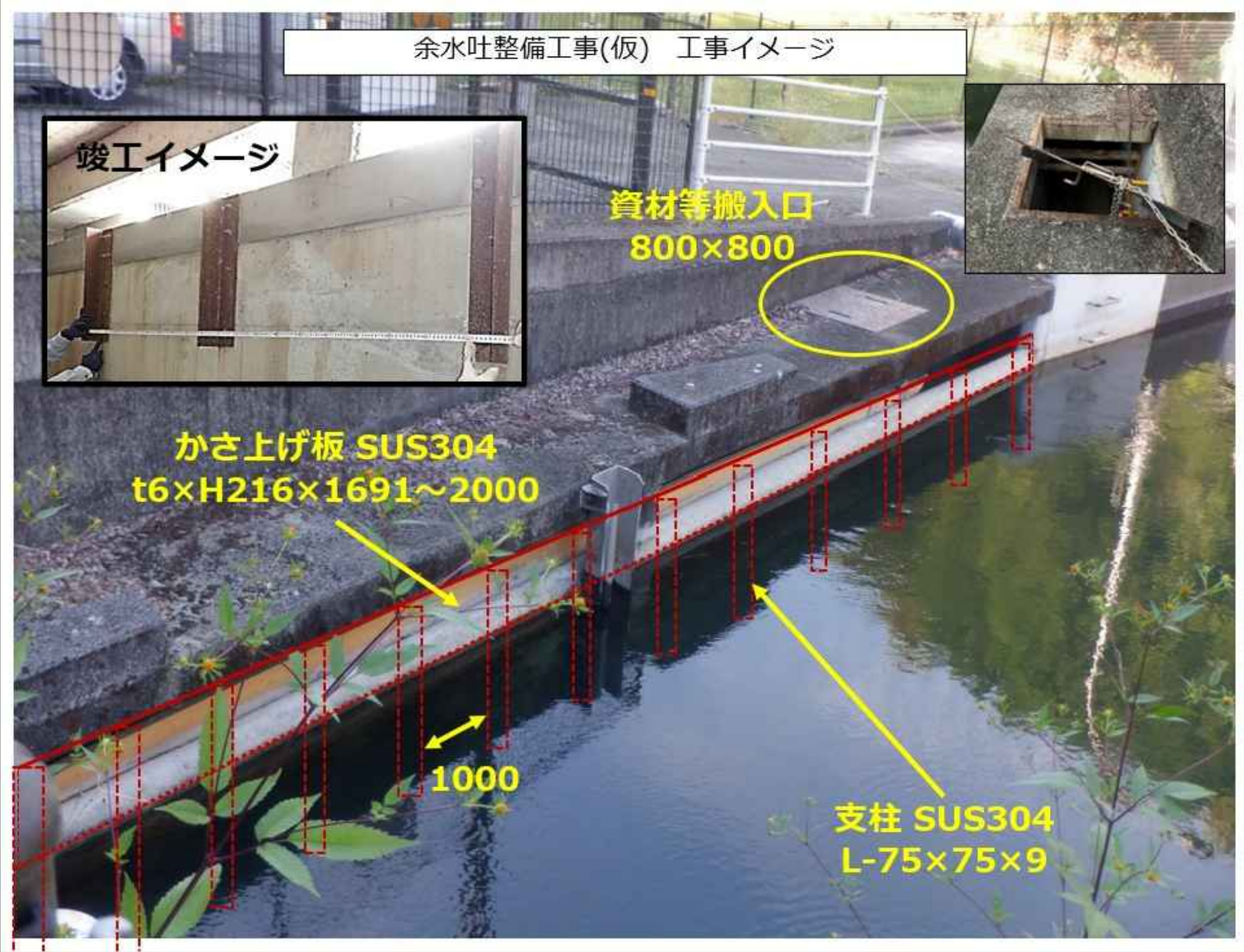
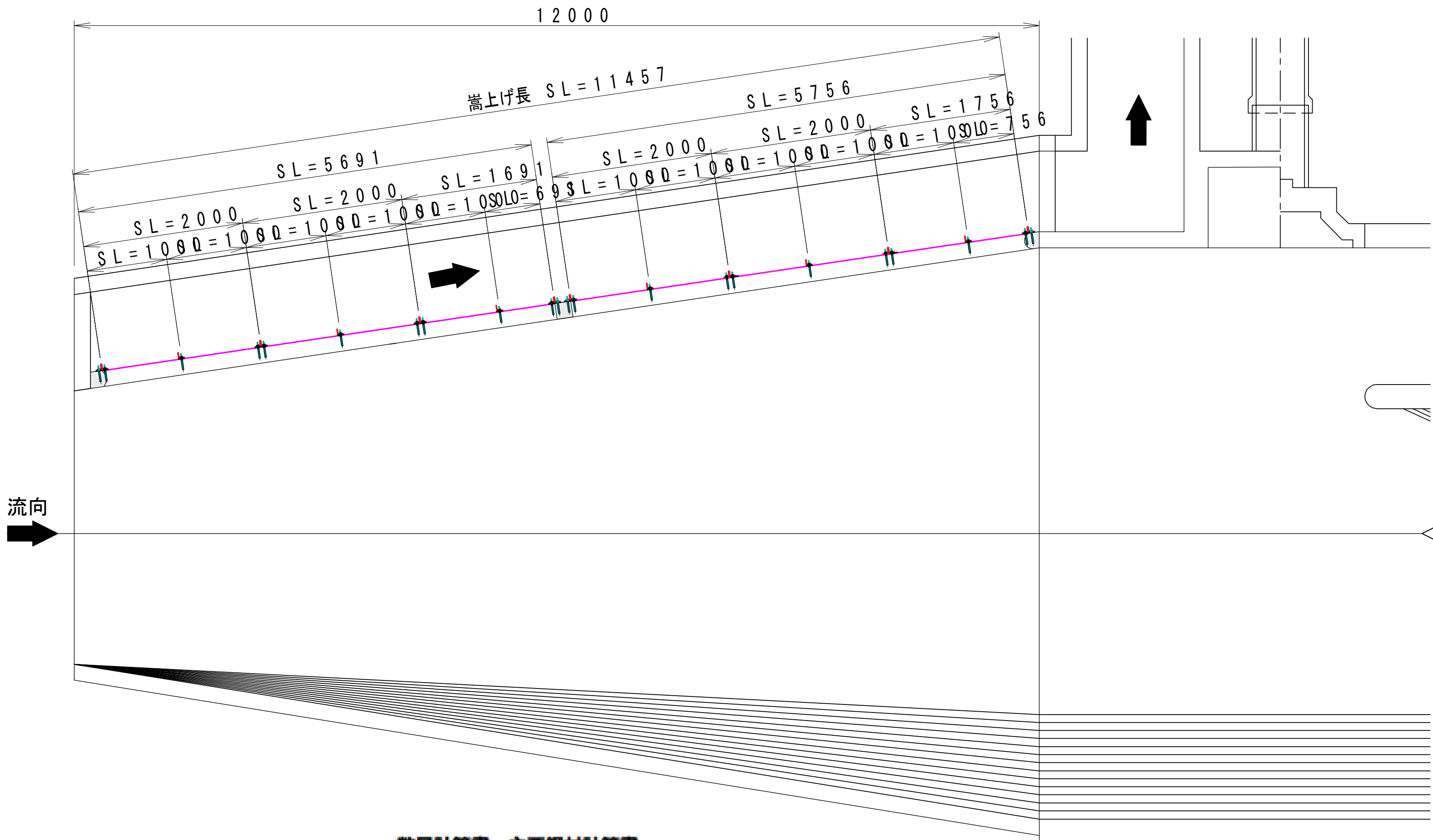


削孔

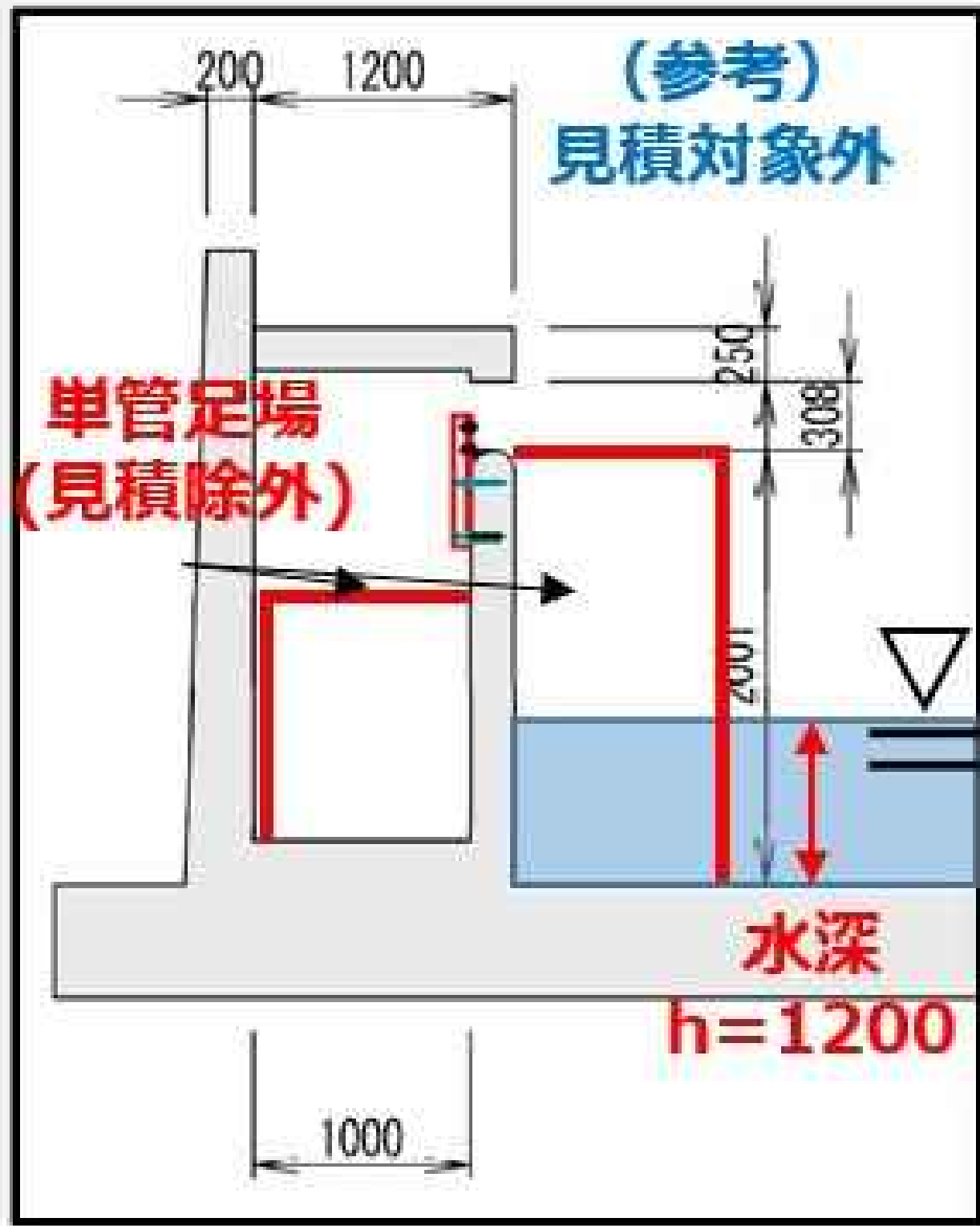
削孔 = $\phi 2 0 \times L 1 4 0 \text{ N} = 4 4$



平面図 S = 1 : 40



数量計算書・主要鋼材計算書					
名称	材質	形状寸法・計算式	数量	単位重量	重量
製作工-嵩上げ板		L= 5.7 + 5.8 = 11.447m			
嵩上げ板		L= 8.000 + 1.691 + 1.756 = 11.447m			
		(単位重量の計算)			
		ステンレス熱間圧延鋼板の単位重量は、			
		厚6.0mm×1000×2000 95.2kg/枚			
		1枚の面積 A= 1.000 × 2.000 = 2.000			
		m2当り = 95.200 / 2.000 = 47.6			
嵩上げ板 標準部	SUS304	t6×H216×L2000 A= 0.216 × 2.000 = 0.432	4	47.60	82kg
嵩上げ板 上流端部	SUS304	t6×H216×L1691 A= 0.216 × 1.691 = 0.365	1	47.60	17kg
嵩上げ板 下流端部	SUS304	t6×H216×L1756 A= 0.216 × 1.756 = 0.379	1	47.60	18kg
小計			—	—	118kg
支柱		N= 8 + 8 + 6 = 22箇所			
		(単位重量の計算)			
		ステンレス等辺山形鋼の単位重量は、			
		厚9.0mm×75×75			
		m当り = 10.060			
支柱①	SUS304	L-75×75×9 L= 0.600 = 0.600	8	10.06	48kg
支柱②	SUS304	L-75×75×9 L= 0.600 = 0.600	8	10.06	48kg
支柱③	SUS304	L-75×75×9 L= 0.600 = 0.600	6	10.06	36kg
小計			—	—	132kg
		【主要鋼材重量 計】	—	—	250kg



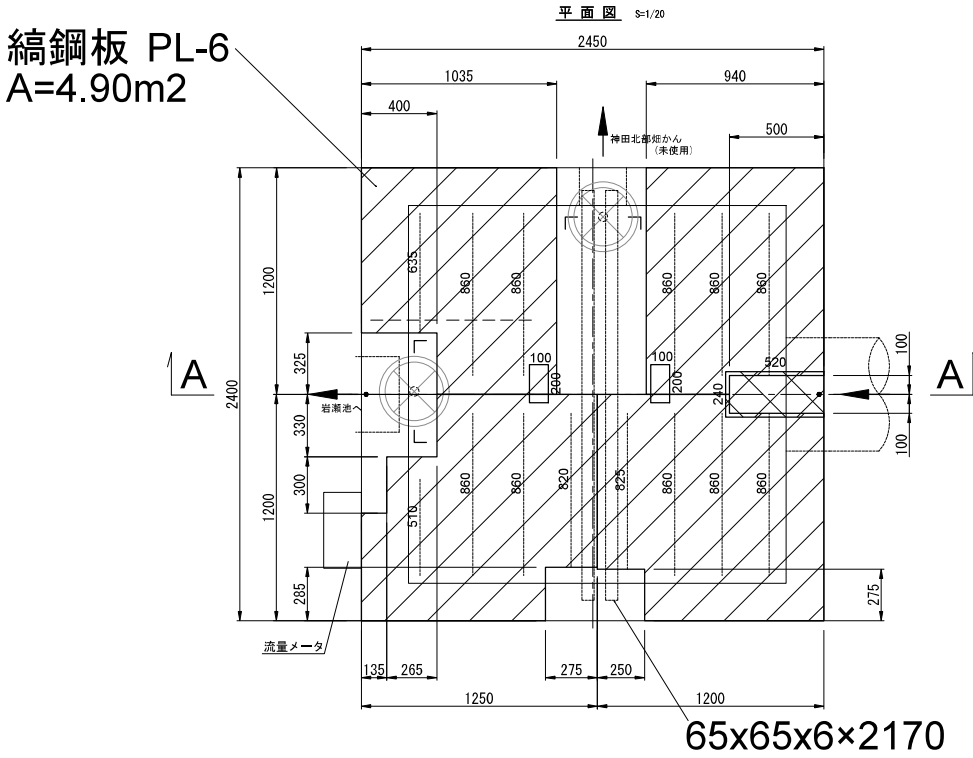
工事名	
名称	見積参考資料（現場状況写真）
登録番号	整理番号 参-006
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所	

既設鋼製ピット蓋 鋼材重量表(参考図)

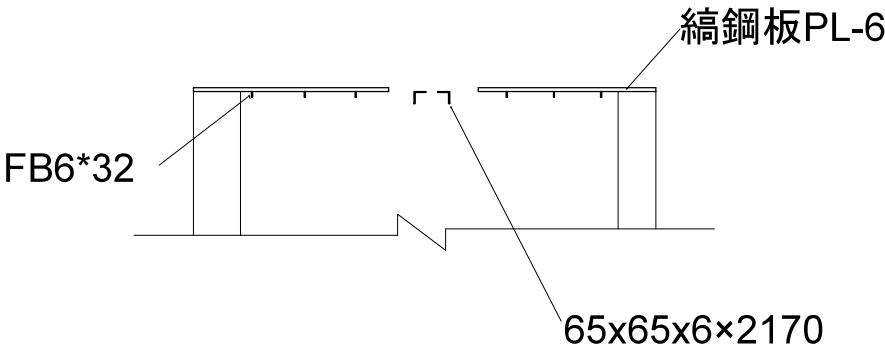
注 意 事 項

1. 適用
この図面は、見積参考資料に適用する。
2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。

既設鉄蓋平面図



断面 A-A



□ 積算資料R6.10 P29
FB6×32 1.51kg/m

□ 建設物価R6.10 P30
等辺山形鋼65×65×6 5.91kg/m

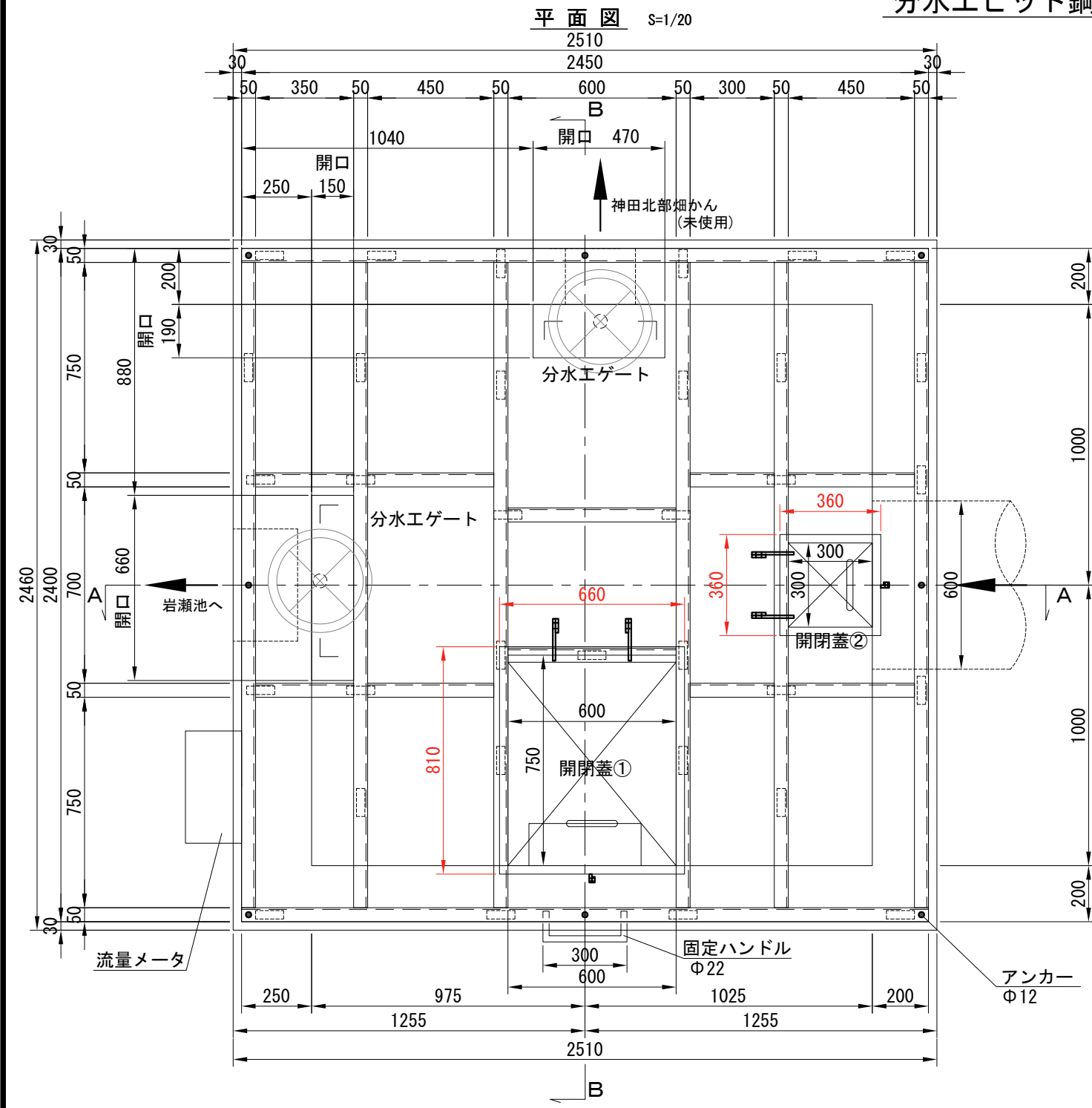
名 称	材 質	形 状 寸 法	数 量	単位重量	重 量 (kg)
既設蓋					
綯鋼板 PL6	SS400	4. 90m ²		47. 10 kg/m ²	230 kg
FB6 × 32	SS400	0. 86 × 10+0. 825+0. 82+0. 635+0. 51=11. 39m	1式	1. 51 kg/m	17 kg
等辺山形鋼65 × 65 × t6	SS400	2. 17 × 2=4. 34m		5. 91 kg/m	25 kg
合計					272 kg

工 事 名	
名 称	参考図 既設鋼製ピット蓋 鋼材重量表
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 吉野川上流総合管理所	

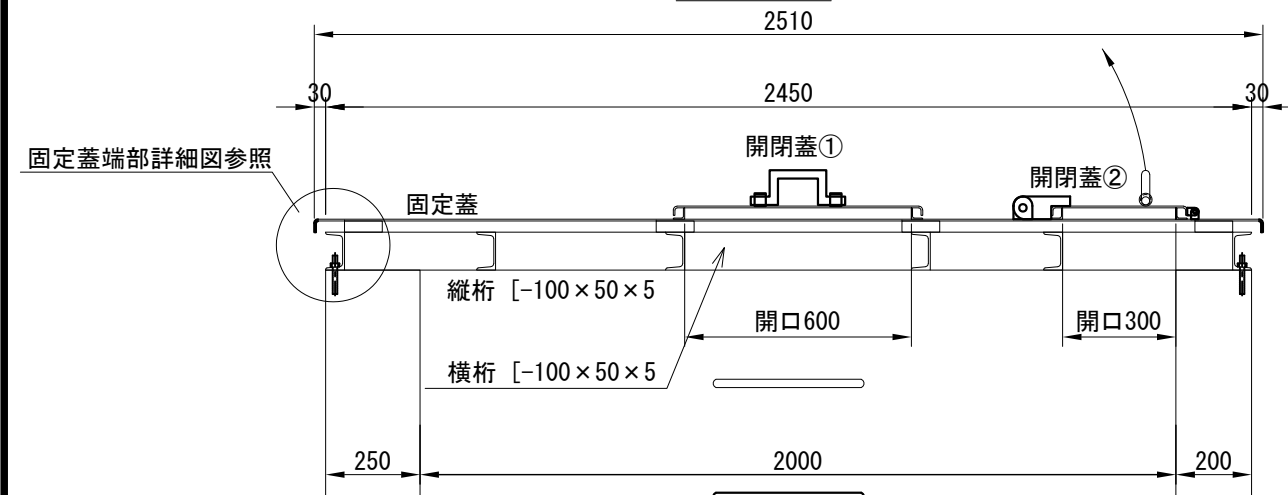
分水工ピット鋼製蓋一般図（見積参考図）

注意事項

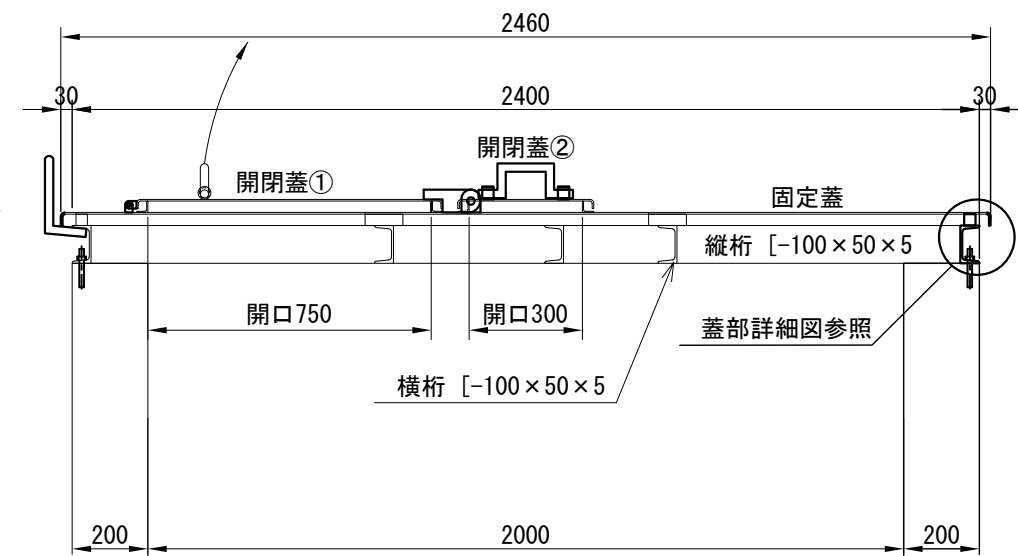
1. 適用
この図面は、見積参考資料に適用する。
2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 固定蓋と柵の間には、スペーサーを設けるものとする。
4. 固定蓋と柵は、ボルト接合とし、コーキング処理を行うこと。
5. 固定蓋及び人が出入りする蓋には、折り返しを設けるものとする。
6. 材料指定なき場合は、すべて、SS400とし、溶融亜鉛メッキ（HDZ17T）仕様とする。
7. 蓋の開閉方向、開閉位置、開放状態での固定方法等のヒンジ周りの加工については事前に監督員の承諾を得るものとする。
8. 柵には吊り金具を取り付けるものとする。設置位置は、事前に監督員の承諾を得るものとする。
9. 固定蓋は分水ゲートの切欠きを設けること。また、製作にあたっては据付時を考慮した分割を反映させた製作承認図を作成し、事前に監督員の承諾を得るものとする。



A-A 断面図 S=1/20



B-B 断面図 S=1/20



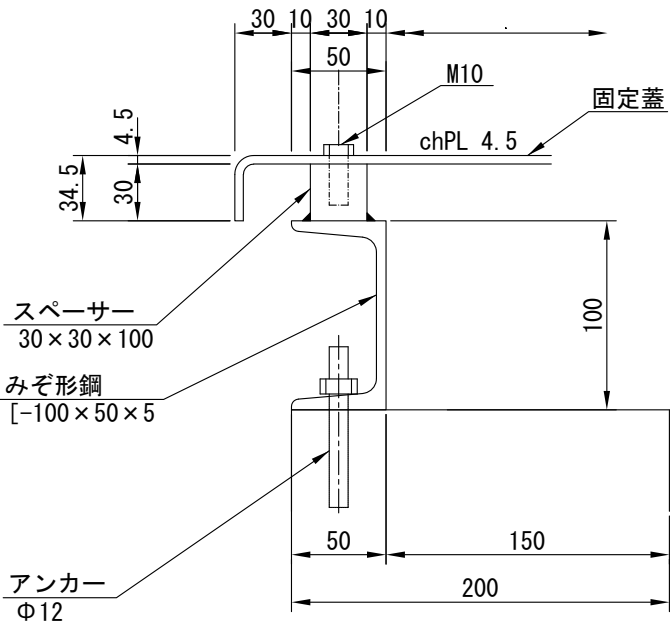
工事名			
名 称	分水工鋼製ビット蓋一般図（見積参考図）		
登録番号		登録番号	
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所			

分水エピット鋼製蓋詳細図（見積参考図）

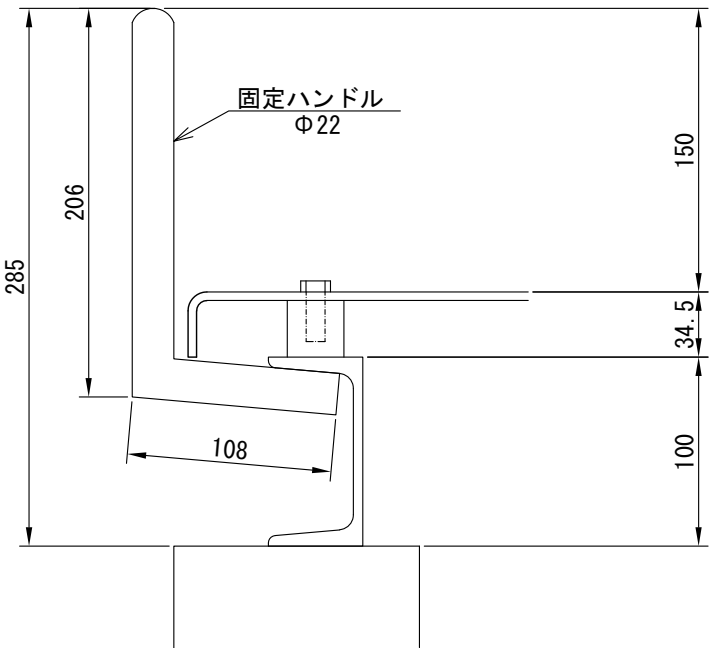
注 意 事 項

- 適用
この図面は、見積参考資料に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 固定蓋と桁の間には、スパーサーを設けるものとする。
- 固定蓋と桁は、ボルト接合とし、コーキング処理を行うこと。
- 固定蓋及び人が出入りする蓋には、折り返しを設けるものとする。
- 材料指定なき場合は、すべて、SS400とし、溶融亜鉛メッキ（HDZ177）仕様とする。
- 蓋の開閉方向、開限位置、開放状態での固定方法等のヒンジ周りの加工については事前に監督員の承諾を得るものとする。
- 桁には吊り金具を取り付けるものとする。設置位置は、事前に監督員の承諾を得るものとする。
- 桁と既設構造物には空隙が生じないようにコーキングまたは無収縮モルタル等による処理を行うものとする。

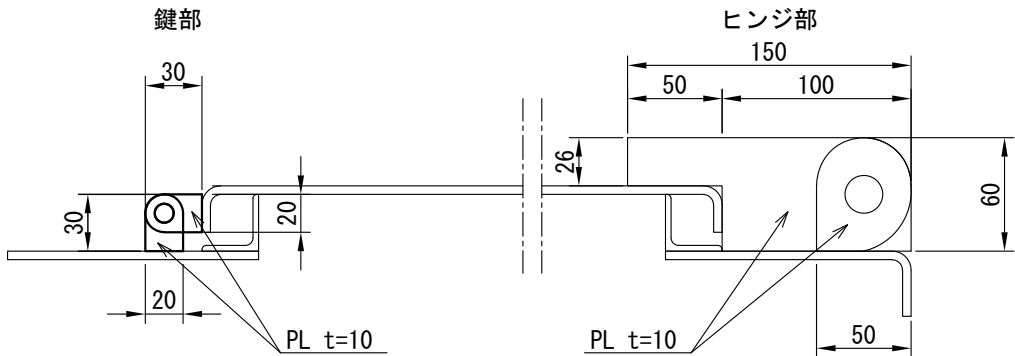
固定蓋端部詳細図 S=1/4



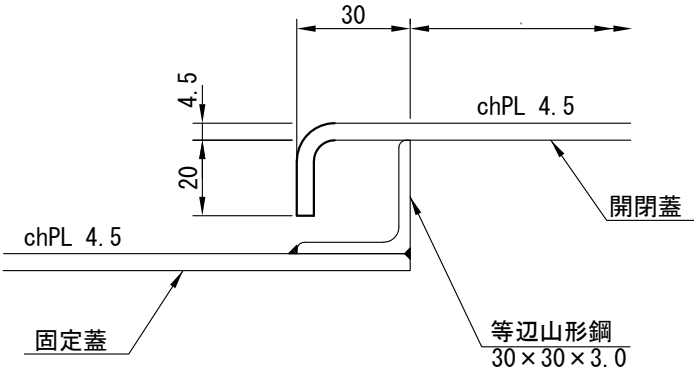
固定ハンドル詳細図 S=1/4



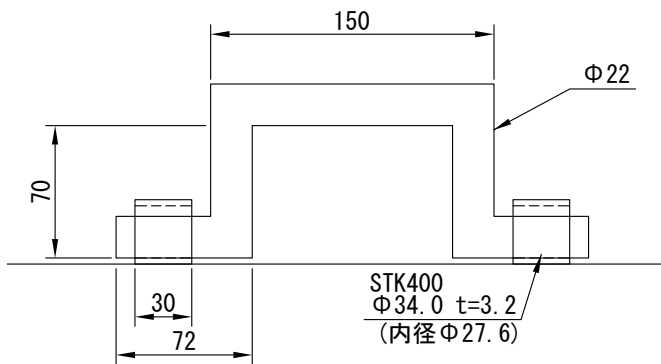
開閉蓋固定金具詳細図 S=1/4



蓋部詳細図 S=1/2



蓋部把手詳細図 S=1/4



工事名			
名 称	分水エピット蓋詳細図（見積参考図）		
登録番号		登録番号	
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所			

分土工鋼製ピット蓋平面図(見積参考図)

S = 1 : 100

分土工鋼製ピット蓋平面図(見積参考図)

S = 1 : 100

分土工鋼製ピット蓋

BOX 100*H2000

76.800

5000

外灯

BOX 100*H2000

76.800

分水工鋼製ピット蓋

5000

外灯

分水工鋼製ビット蓋平面図（見積参考図）	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構	吉野川上流総合管理所

分水工鋼製ビット蓋平面図（見積参考図）	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構	吉野川上流総合管理所

分水工鋼製ビット蓋平面図（見積参考図）	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構	吉野川上流総合管理所

分水工鋼製ビット蓋平面図（見積参考図）	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構	吉野川上流総合管理所

分水工鋼製ピット蓋主要鋼材数量表

	名 称	材 質	形 状 寸 法	数 量	単位重量	重 量 (kg)
	蓋関係					
	【固定蓋】					
【しま鋼板】	固定蓋-1	SS400	$A=(2.510 \times 2.460)+(2.510 \times 2+2.460 \times 2) \times 0.03$ $=(0.600 \times 0.750+0.300 \times 0.300+0.47 \times 0.19+0.66 \times 0.15)=5.744$ $A=5.7m2/枚$	※注1 1	37.03 kg/m2	211
	小 計					211 kg
【等辺山形鋼】	固定蓋-①(開口部)	SS400	L-30×30×3 L= 750×2+600×2 L=2.70m/本	※注2 1	1.36 kg/m	4
【等辺山形鋼】	固定蓋-②(開口部)	SS400	L-30×30×3 L= 300×4 L=1.20m/本	1	1.36 kg/m	2
	小 計					6
						kg
	【開閉蓋】					
【しま鋼板】	開閉蓋①	SS400	$A=(0.810 \times 0.660)+(0.81 \times 2+0.66 \times 2) \times 0.02=0.593$ $A=0.6m2/枚$	※注1 1	37.03 kg/m2	22
	開閉蓋②	SS400	$A=(0.360 \times 0.360)+(0.36 \times 2+0.36 \times 2) \times 0.02=0.158$ $A=0.2m2/枚$	1	37.03 kg/m2	7
	小 計					29 kg
【普通鋼板】	蓋(ヒンジ部)	SS400	PL-10mm (0.150×0.060-0.0345×0.050)+(0.050×0.060×2)=0.010 L=0.01m2/枚	※注3 4	78.349 kg/m2	3
【普通鋼板】	蓋(鍵部)	SS400	PL-10mm (0.030×0.020+0.030×0.020)=0.001 L=0.001m2/枚	2	78.349 kg/m2	0
	小 計					3 kg
【丸鋼】	把手	SS400	Φ22 L=150+(70×2)+(72×2)=434 L=0.434m/本	※注4 2	2.98 kg/m	3
【一般構造用鋼管】	把手固定金具	STK400	Φ34 t=3.2 L=30 L=0.030m/本	※注5 4	2.43 kg/m	0
	小 計					3 kg
【普通鋼板】	スペーサー	SS400	PL- t 30×B30×L100 A=0.03×0.100=0.003 A=0.003m2/枚	※注6 33	235.65 kg/m2	23
	小 計					23 kg
	蓋関係 計					275 kg
	【桁 関係】					
【溝形鋼】	横桁-1	SS400	[-100×50×5 L=350 L=0.35m/本	※注7 2	9.36 kg/m	7
【溝形鋼】	横桁-2	SS400	[-100×50×5 L=450 L=0.45m/本	4	9.36 kg/m	17
	横桁-3	SS400	[-100×50×5 L=600 L=0.60m/本	2	9.36 kg/m	11
	横桁-4	SS400	[-100×50×5 L=300 L=0.30m/本	2	9.36 kg/m	6
	横桁-5	SS400	[-100×50×5 L=2450 L=2.45m/本	2	9.36 kg/m	46
【溝形鋼】	縦桁-1	SS400	[-100×50×5 L=2300 L=2.30m/本	6	9.36 kg/m	129
	小 計					216 kg
	【固定ハンドル】					
【丸鋼】	固定ハンドル	SS400	Φ22 L=(300+208×2+108×2)=932 L=0.932m/本	※注4 1	2.98 kg/m	3
	小 計					3 kg
	桁関係 計					219 kg
	合 計				総重量	494 kg

※注1
しま鋼板の単位重量の算出（積算資料R02.6月号P.42参照）
厚4.5mm 1.524×3.048 172.0kg/枚 の単位重量は、
1枚の面積=1.524×3.048=4.645m2
m2あたり =172.0kg/4.645m2=37.03kg/m2 とする。

※注2
等辺山形鋼の単位重量の算出（積算資料R02.6月号P.32参照）
厚3.0mm×30×30 の単位重量は、
mあたり =1.36kg/m とする。

※注3
普通鋼板の単位重量の算出（積算資料R02.6月号 P.40参照）
板厚10.0mm 914×1829 131.0kg/枚 の単位重量は、
1枚の面積=0.914×1.829=1.672m2
m2あたり =131kg/1.672m2=78.349kg/m2 とする。

※注4
丸鋼の単位重量の算出（建設物価R02.6月号 P.22参照）
Φ22 の単位重量は、
mあたり =2.98kg/m とする。

※注5
一般構造用鋼管の単位重量の算出（積算資料R02.6月号 P.44参照）
Φ34.0 t=3.2 の単位重量は、
mあたり =2.43kg/m とする。

※注6
普通鋼板の単位重量の算出（積算資R02.6月号P.40参照）
板厚30mm 914×1829 394.0kg/枚 の単位重量は、
1枚の面積=0.914×1.829=1.672m2
m2あたり =394kg/1.672m2=235.65kg/m2 とする。

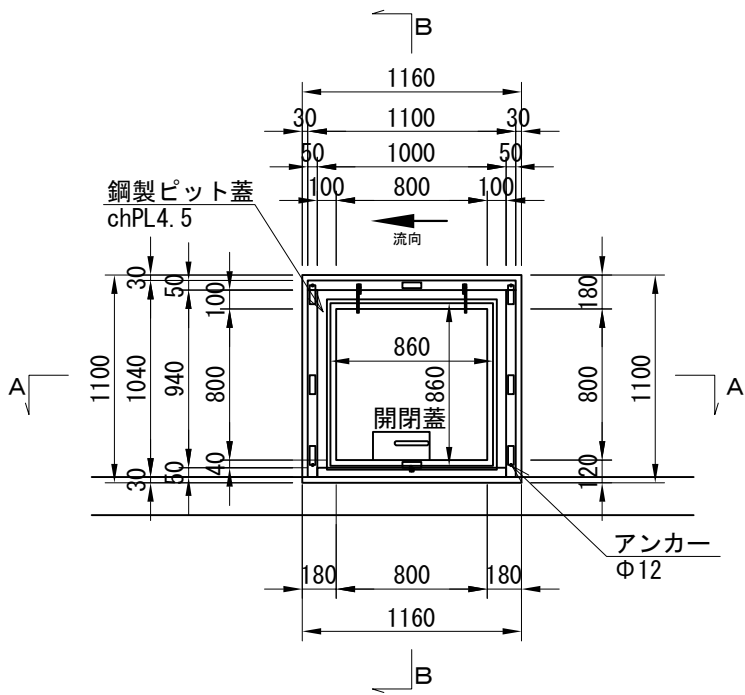
※注7
溝形鋼の単位重量の算出（積算資料R02.6月号P.34参照）
[-100×50×5 の単位重量は、
mあたり =9.36kg/m とする。

注 意 事 項

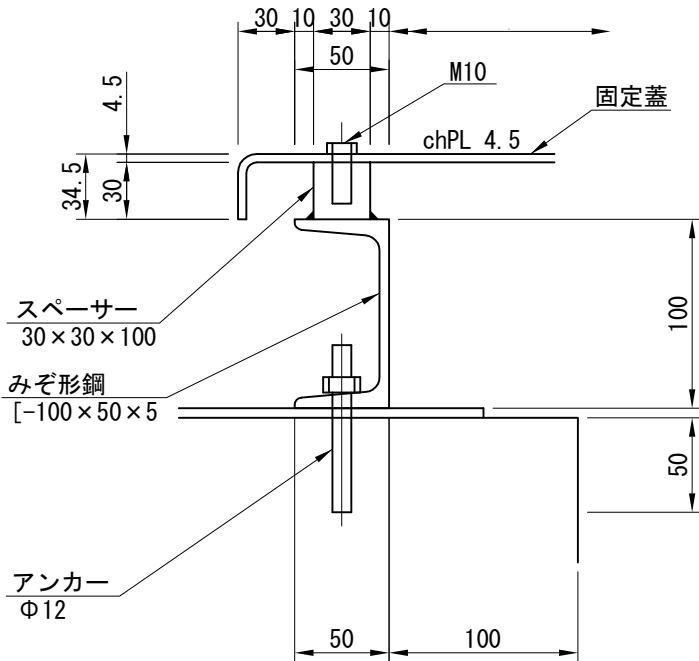
- 適用
この図面は、見積参考資料に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 固定蓋と桁の間には、スペーサーを設けるものとする。
- 固定蓋と桁は、ボルト接合とし、コーキング処理を行うこと。
- 固定蓋及び人が出入りする蓋には、折り返しを設けるものとする。
- 材料指定なき場合は、すべて、SS400とし、溶融亜鉛メッキ(HDZ177)仕様とする。
- 蓋の開閉方向、開眼位置、開放状態で固定方法等のヒンジ周りの加工については事前に監督員の承諾を得るものとする。
- 桁には吊り金具を取り付けるものとする。設置位置は、事前に監督員の承諾を得るものとする。

余水吐鋼製ピット蓋詳細図（見積参考図）
S=図示

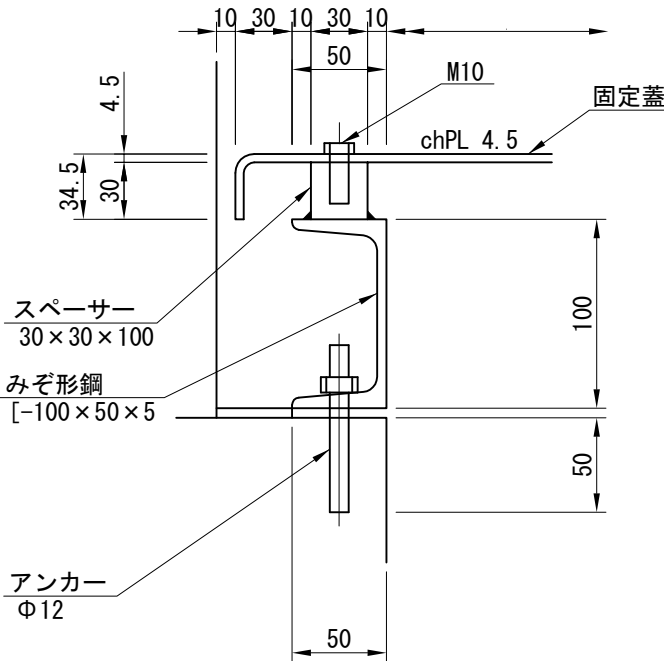
平面図 S=1/20



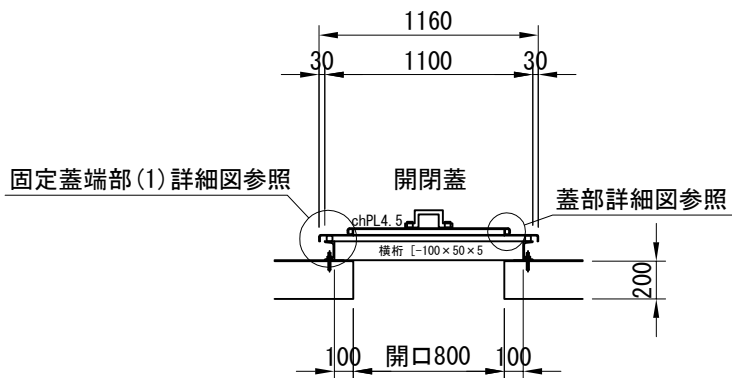
鋼製ピット蓋詳細図(1) S=1/2



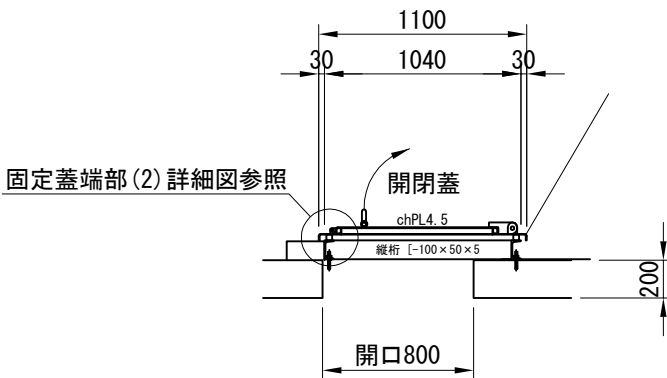
鋼製ピット蓋詳細図(2) S=1/2



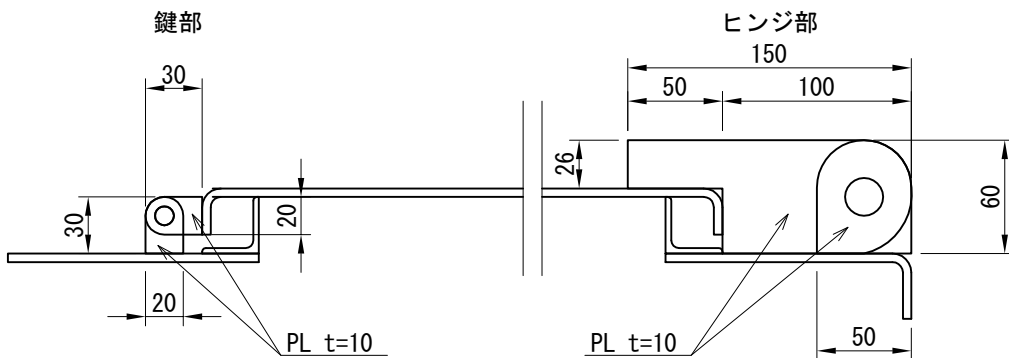
A-A断面図 S=1/20



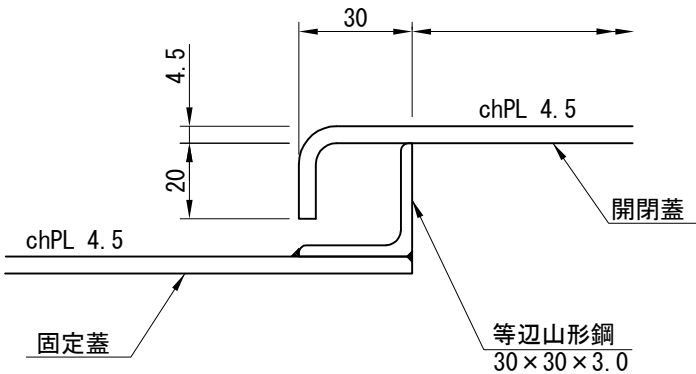
B-B断面図 S=1/20



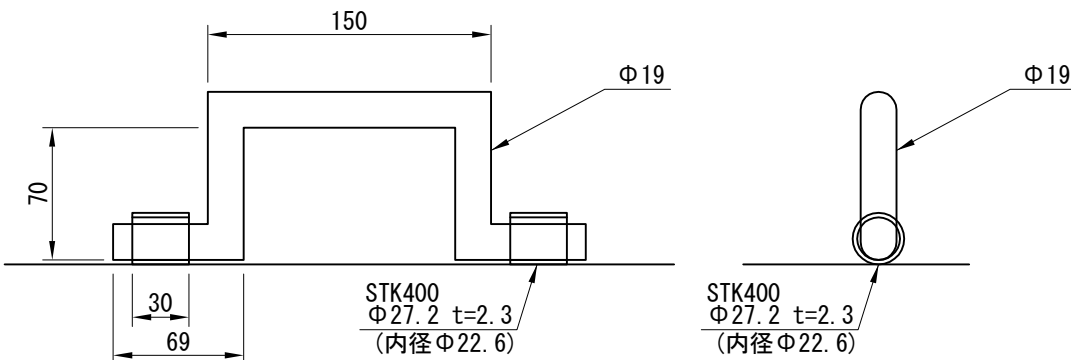
開閉蓋固定金具詳細図 S=1/2



蓋部詳細図 S=1/0.5



蓋部把手詳細図 S=1/2



工 事 名	
名 称	余水吐鋼製ピット蓋詳細図（見積参考図）
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 吉野川上流総合管理所	

余水吐銅製ビット蓋

	名 称	材 質	形 状 寸 法	数 量	単 位 重 量	脚 注	重 量 (kg)
【しま鋼板】	<蓋関係>						
	【固定蓋】						
	固定蓋	SS400	$A=(1.100 \times 1.160) + (1.100 \times 2 + 1.160 \times 2) \times 0.03 - (0.800 \times 0.800) = 0.772$ $A=0.8\text{m}^2/\text{枚}$	1	37.03kg/m ²	※注1	30
	小 計						30kg
【しま鋼板】	【開閉蓋】						
	開閉蓋	SS400	$A=(0.860 \times 0.860) + (0.860 \times 4 \times 0.02) = 0.808$ $A=0.8\text{m}^2/\text{枚}$	1	37.03kg/m ²	※注1	30
	小 計						30kg
【等辺山形鋼】	蓋受(開口部)	SS400	L=30×30×3 L=800×4=3200 L=3.200m/本	1	1.36kg/m	※注2	4
	小 計						4kg
【普通鋼板】	蓋(ヒンジ部)	SS400	PL-10mm $A=(0.150 \times 0.060 - 0.0345 \times 0.050) + (0.050 \times 0.060 \times 2) = 0.010$ $A=0.01\text{m}^2/\text{枚}$	2	78.349kg/m ²	※注3	2
	蓋(鍵部)	SS400	PL-10mm $A=(0.030 \times 0.020 + 0.030 \times 0.020) = 0.001$ $A=0.001\text{m}^2/\text{枚}$	1	78.349kg/m ²		0
	小 計						2kg
【丸鋼】	把手	SS400	Φ19 L=150+(70×2)+(72×2)=434 L=0.434m/本	1	2.25kg/m	※注4	1
	把手固定金具	STK400	20A(外径Φ27.2) t=2.3 L=30 L=0.030m/本	2	1.41kg/m	※注5	0
	小 計						1kg
【普通鋼板】	スパーサー	SS400	PL-t 30×B30×L100 $A=0.03 \times 0.100 = 0.003$ $A=0.003\text{m}^2/\text{枚}$	8	235.65kg/m ²	※注6	6
	小 計						6kg
	蓋関係 計						73kg
【溝形鋼】	<桁関係>						
	横桁-1	SS400	C-100×50×5 L=1100 L=1.100m/本	1	9.36kg/m	※注7	10
	横桁-2	SS400	C-100×50×5 L=1000 L=1.000m/本	1	9.36kg/m		9
【溝形鋼】	横桁-1	SS400	C-100×50×5 L= 950 L=0.950m/本	2	9.36kg/m		18
	小 計						37kg
	桁関係 計						37kg
	合 計				総 重 量		110 kg

※注1

しま鋼板の単位重量の算出（積算資料R05.7月号P.42参照）
厚4.5mm 1.524×3.048 172.0kg/枚 の単位重量は、1枚の面積=1.524×3.048=4.645m² m²あたり =172.0kg/4.645m²=37.03kg/m² とする。

※注2

等辺山形鋼の単位重量の算出（積算資料R05.7月号P.32参照）
厚3.0mm×30×30 の単位重量は、mあたり =1.36kg/m とする。

※注3

普通鋼板の単位重量の算出（積算資料R05.7月号 P.40参照）
板厚10.0mm 914×1829 131.0kg/枚 の単位重量は、1枚の面積=0.914×1.829=1.672m² m²あたり =131kg/1.672m²=78.349kg/m² とする。

※注4

丸鋼の単位重量の算出（建設物価R05.7月号 P.22参照）
Φ19 の単位重量は、mあたり =2.25kg/m とする。

※注5

一般構造用鋼管の単位重量の算出（積算資料R05.7月号 P.44参照）
20A(外径Φ27.2) t=2.3 の単位重量は、mあたり =1.41kg/m とする。

※注6

普通鋼板の単位重量の算出（積算資料R05.7月号P.40参照）
板厚30mm 914×1829 394.0kg/枚 の単位重量は、1枚の面積=0.914×1.829=1.672m² m²あたり =394kg/1.672m²=235.65kg/m² とする。

※注7

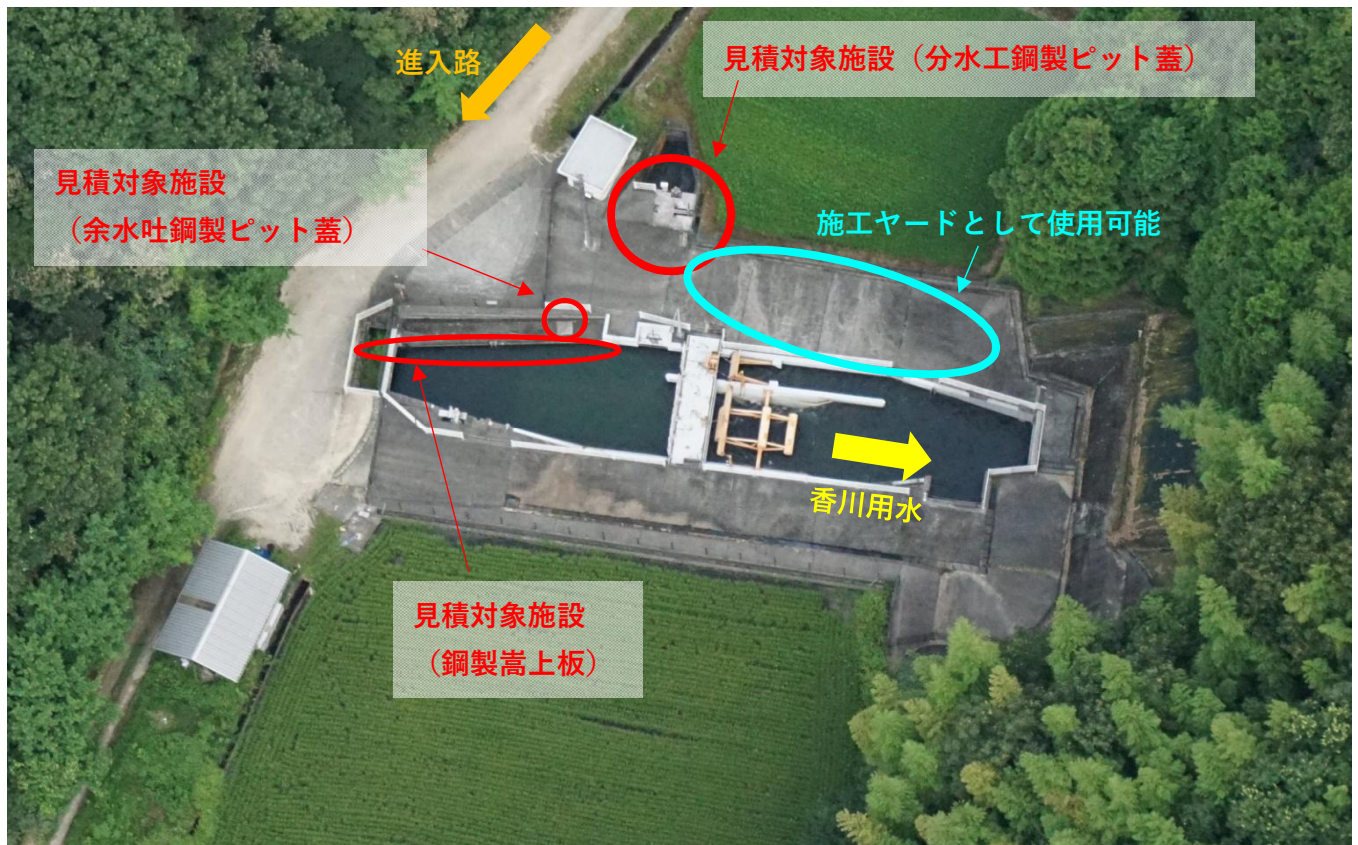
溝形鋼の単位重量の算出（積算資料R05.7月号P.34参照）
C100×50×5 の単位重量は、mあたり =9.36kg/m とする。

※注8

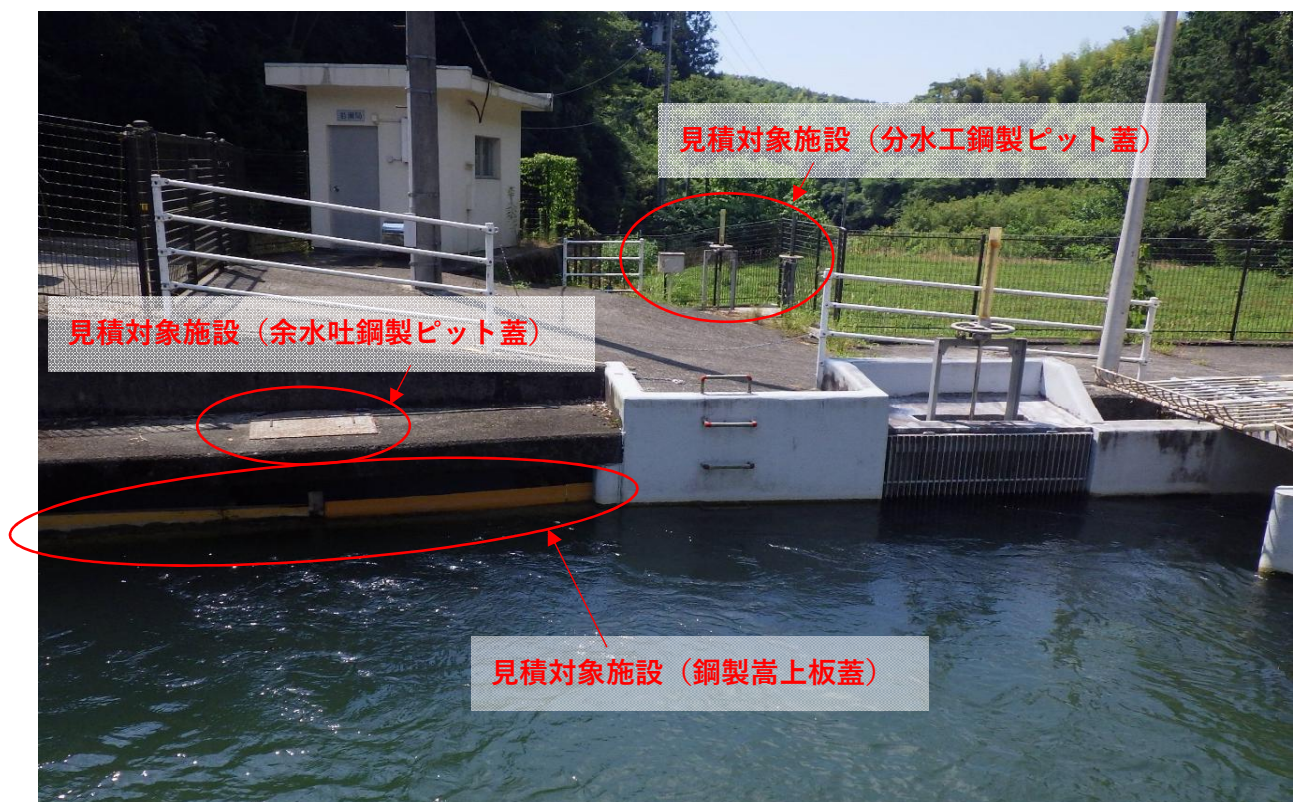
平鋼の単位重量の算出（積算資料R05.7月号P.29参照）
FB-100×t=9 の単位重量は、mあたり =7.06kg/m とする。

(参考)

現況 見積対象施設全景 (上空)



現況 全景

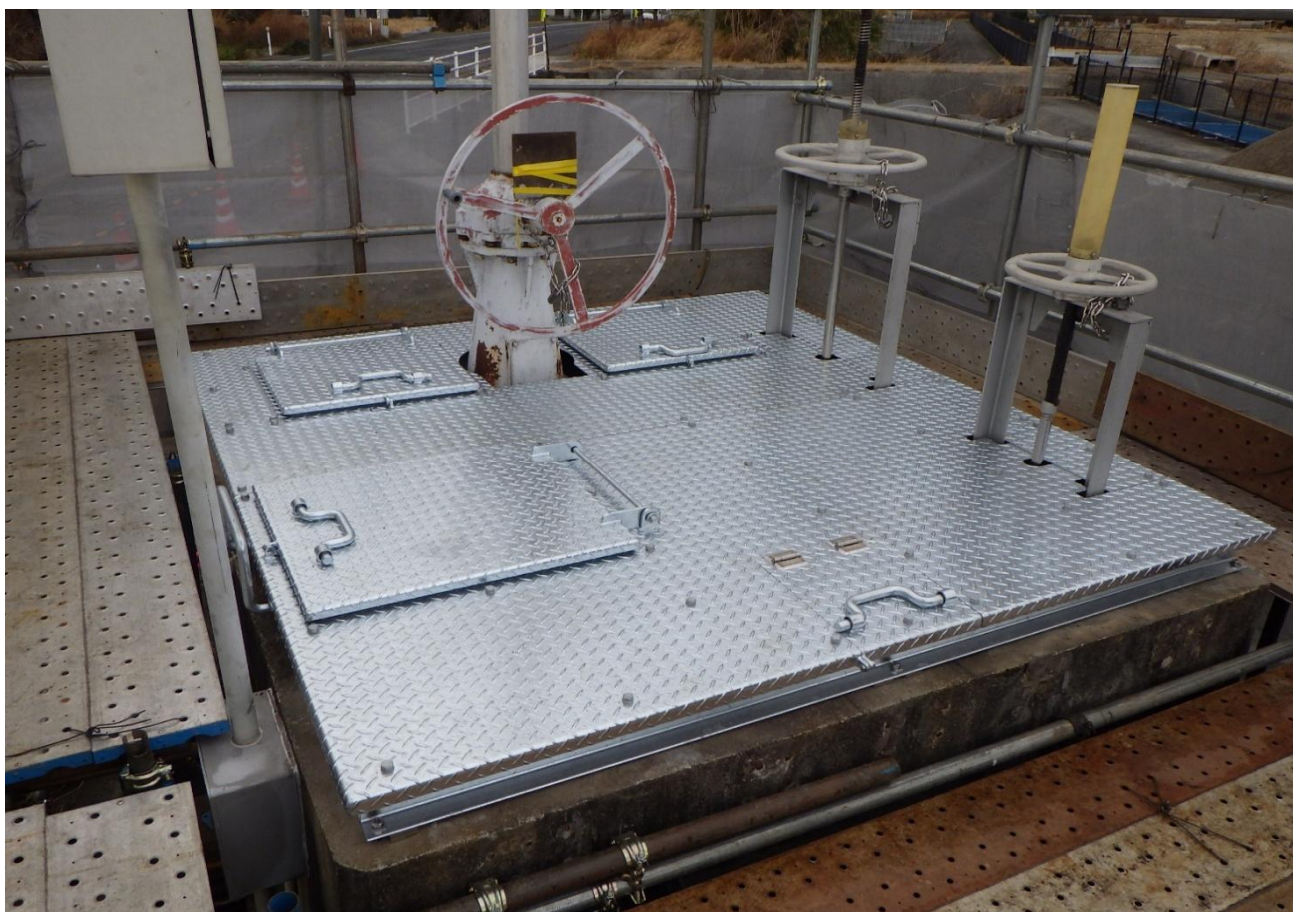


(参考) 分水工鋼製ピット蓋

現況 分水工鋼製ピット蓋

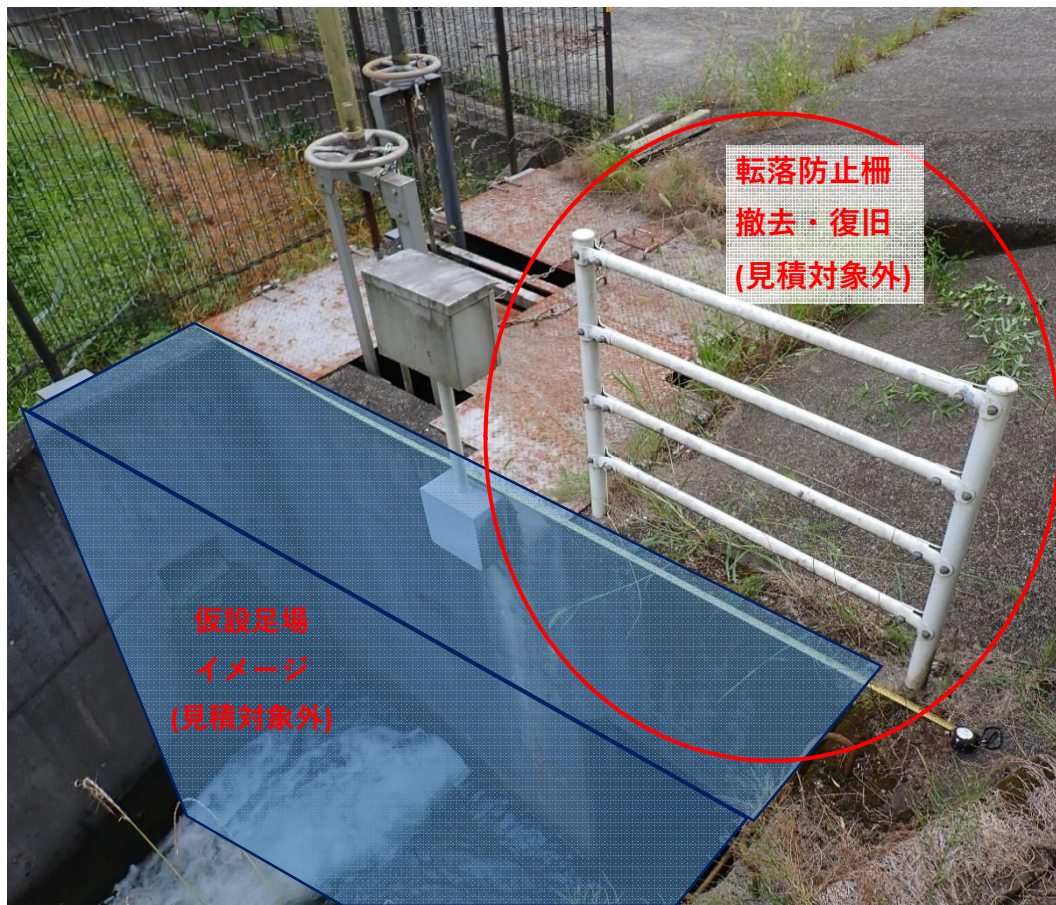


完成イメージ



(参考) 分水工鋼製ピット蓋

現況 仮設足場及び転落防止柵の撤去・復旧は見積対象外



(参考) 余水吐鋼製ピット蓋

現状



完成イメージ

